第2節 アスベスト大気濃度調査結果の取りまとめ

1.全測定地点の調査結果

平成23年度調査において光学顕微鏡法によって測定を行った地点数は、45地点、144箇所、314 試料である。

光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果を表 - 1 に示す。

表 -1(1) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

							÷	化学顕微鏡?	
地点 No.	都道府県名	地域名・事務所等	地域分類	参考地域分類	調査期間	箇所 番号	(f/L)	フィルタ	幾何平均(f/L)
NO.						田与	総繊維	枚数	総繊維
1	北海道	富良野市住宅地域	継続調査地域	住宅地域	2011/12/13		0.17	1	
					2011/12/14	4 1	0.11	1	
0	ルたみ		/ / / 本 知 本 1 1 1		2011/12/15		0.056	1	0.10
2	北海道	(株)ノザワ フラノエ場 (旧北海道工場)	継続調査地域	旧口締製品 製造事業場等	2011/12/19	4 1	0.056	1	
		(1010/4/2/2/3/)		农产于来物位	2011/12/20		0.056	2	0.00
					2011/12/21 2011/12/19		0.17 0.056	1	0.08
					2011/12/19	1	0.11	1	
					2011/12/21	1 1	0.34	2	0.13
					2011/12/19		0.056	1	
					2011/12/20		0.056	1	
					2011/12/21		0.17	2	0.08
					2011/12/19	1 1	0.11	1	
					2011/12/20		0.11	1	0.42
					2011/12/21 2011/12/19		0.17 0.056	1	0.13
					2011/12/20	1 1	0.056	1	
					2011/12/21	1	0.11	1	0.07
					2011/12/19		0.11	1	
					2011/12/20		0.17	1	
40	古古知	中中医学祖祖子阿八祖	继结钿本地子	廃棄物処分場等	2011/12/21	-	0.056	1	0.10
12	東京都	中央防波堤埋立処分場 	継続副 旦地域	茂果初处万场 守	2011/12/10		0.22	2	
					2011/12/20 2011/12/21	1	0.28	2	0.26
					2011/12/21		0.22	2	0.20
					2011/12/20		0.17	2	
					2011/12/21		0.11	2	0.16
13	東京都	東京都環境科学研究所	継続調査地域	商工業地域	2011/12/12		0.28	2	
					2011/12/13	1 1	0.17	2	
					2011/12/14		0.11	2	0.17
					2011/12/12 2011/12/13	1	0.17 0.11	2	
					2011/12/13		0.11	2	0.13
14	神奈川県	川崎市公害研究所	継続調査地域	商工業地域	2012/1/23		0.056未満	1	00
					2012/1/24		0.056	1	
					2012/1/25		0.056	1	0.06
					2012/1/23	1	0.056	1	
					2012/1/24 2012/1/25		0.056 0.11	1	0.07
15	神奈川県	川崎市幹線道路	継続調査地域	幹線道路沿線	2012/1/23		0.11	2	0.07
				+1 ms 2= 24 74 ms	2012/1/24	1 1	0.056	1	
					2012/1/25	1 1	0.17	1	0.14
					2012/1/23		0.25	2	
					2012/1/24		0.056	1	
10	巫和 国	女士尼主任党业 培	似 往 钿 木 山 斗	人 安地士	2012/1/25		0.11	1	0.12
16	愛知県	名古屋市住宅地域	継続調査地域	1生毛地域	2012/1/31	1 1	0.056	1	
					2012/2/1 2012/2/2	1 1	0.056	1	0.06
					2012/2/2		0.056 0.056	1	0.06
					2012/1/31		0.11	1	
	<u></u>				2012/2/2		0.056	1	0.07
17	愛知県	県道名古屋長久手線	継続調査地域	幹線道路沿線	2012/1/31		0.11	2	
					2012/2/1	1	0.22	2	
					2012/2/2		0.34	2	0.20
					2012/1/31		0.17	2	
					2012/2/1 2012/2/2		0.17 0.17	2	0.17
18	大阪府	 堺第7-3区廃棄物処分	継続調査地域	廃棄物処分場等		_	0.17	1	U.17
		場			2012/1/23		0.11	1	
		(旧中間処理センター)			2012/1/25	1 1	0.11	1	0.11
					2012/1/23		0.17	1	
					2012/1/24		0.17	1	
	ı	I	1	I	2012/1/25	1	0.056	1	0.12

表 -1(2) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

				1			3	化学顕微鏡:	法
地点			111-1-1-1 / XT	4 + 11 14 1 × 1	+m - k- ++n ==	箇所	(f/L)	1	幾何平均(f/L)
No.	都道府県名	地域名・事務所等	地域分類	参考地域分類	調査期間	番号	総繊維	フィルタ 枚数	総繊維
19	大阪府	堺港湾合同庁舎	継続調査地域	商工業地域	2012/1/23		0.17	2	
		(臨海センター南側庭園)			2012/1/24		0.056	1	
					2012/1/25		0.17	2	0.12
					2012/1/23		0.17	2	
					2012/1/24		0.056	1	
- 00	C = 10		/w//==================================	**************************************	2012/1/25		0.11	2	0.10
20	兵庫県	国設一般大気環境測定局 前	継 統嗣直地	□ 商工業地域 ■	2012/2/13		0.11	2	
		及び			2012/2/15		0.45	2	0.40
		尼崎市立労働センター中			2012/2/16 2012/2/13		0.11	2	0.18
		庭			2012/2/15		0.62	2	
					2012/2/16		0.17	2	0.26
21	大阪府	双子川浄苑	継続調査地域	商工業地域	2012/1/30		0.056	1	0.20
					2012/1/31		0.11	1	
					2012/2/1		0.17	2	0.10
					2012/1/30		0.056	1	
					2012/1/31		0.11	1	
		VD /0 /0	AN A+ 40 - 10 / 10	(A)	2012/2/1		0.17	2	0.10
22	奈良県	県保健環境研究センター 及び県奈良総合庁舎	継続調査地域	任宅地域	2011/12/19		0.11	1	
		メン 木 示 及総 ロル 百			2011/12/20		0.056	1	
					2011/12/21		0.22	1	0.11
					2011/12/19 2011/12/20		0.056	1	
					2011/12/20		0.056	1	0.07
23	島根県	国設隠岐局	バックグラウ	離島地域	2012/1/16		0.11	1	0.07
			ンド地域		2012/1/17		0.11	1	
					2012/1/18		0.11	1	0.11
					2012/1/16		0.056	1	
					2012/1/17		0.056未満	1	
0.4	产自用	丰庆林坦之克殊八田	炒 佐钿木 <u>料</u> 桂		2012/1/18		0.056	1	0.06
24	仏島県	南原峡県立自然公園	継続調宜地或	内陸山間地域	2012/1/16		0.11	1	
					2012/1/17		0.056	1	0.07
					2012/1/18 2012/1/16		0.056 0.056	1	0.07
					2012/1/17		0.056	1	
					2012/1/18		0.056	1	0.06
25	広島県	山陽自動車道	継続調査地域	高速道路沿線	2012/1/16		0.28	4	
		五日市インター			2012/1/17		0.22	4	
					2012/1/18		0.22	4	0.24
					2012/1/16		0.34	4	
					2012/1/17		0.34	4	
26	福岡国	国設筑後小郡環境大気	継続調査地域	農業地域	2012/1/18		0.34	4	0.34
20		測定所	ᆙᆒᆋᅄ	/心:木心/%	2012/1/10 2012/1/11		0.34	2 2	†
					2012/1/11		0.17	2	0.21
					2012/1/12		0.22	2	V.21
					2012/1/11		0.11	2	
					2012/1/12		0.17	2	0.16
27	福岡県	千石の郷	継続調査地域	内陸山間地域	2012/1/10		0.11	1	
					2012/1/11		0.11	2	ļ
					2012/1/12		0.17	2	0.13
					2012/1/10		0.056	1	
					2012/1/11 2012/1/12		0.22	2	0.13
28	福岡県	福岡市住宅地域	継続調査地域	住宅地域	2012/1/12		0.17	3	0.13
		(吉塚西住宅)	"		2012/1/10		0.11	2	†
					2012/1/12		0.22	2	0.19
					2012/1/10		0.17	3	
					2012/1/11		0.11	2	
					2012/1/12		0.22	2	0.16

表 -1(3) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

							3	七学顕微鏡	法
地点	都道府県名	地域名・事務所等	地域分類	参考地域分類	調査期間	箇所	(f/L)	フィルタ	幾何平均(f/L)
No.	即是的朱古	현생다 [·] 활성기			响且别问	番号	総繊維	枚数	総繊維
29	福岡県	国道3号線千鳥橋交差点	継続調査地域	幹線道路沿線	2012/1/10		0.28	4	
					2012/1/11		0.39	4	
					2012/1/12		0.28	4	0.31
					2012/1/10		0.34	4	
					2012/1/11		0.34	4	
- 00	*= 131 IB	姓日邓贝拉伦出版 石坦	炒件卸本址井	松丛出版 于19	2012/1/12		0.22	4	0.29
30	福岡県	糟屋郡旧蛇紋岩採石場 (岩本工業)		蛇紋岩採石場	2012/1/10		0.11	1	
		(石华工来)			2012/1/11		0.11	1	0.44
					2012/1/12 2012/1/10		0.11 0.056	1	0.11
					2012/1/10		0.036	1	
					2012/1/12		0.11	1	0.09
31	佐賀県	小川島	継続調査地域	離島地域	2012/1/16		0.056	1	0.00
					2012/1/17		0.056	1	
					2012/1/18		0.056	1	0.06
					2012/1/16		0.056	1	
					2012/1/17		0.056	1	
					2012/1/18		0.056	1	0.06
32	長崎県	国設対馬酸性雨測定所	バックグラウ ンド地域	離島地域	2012/1/16		0.056	1	
			1 1 10 43		2012/1/17		0.056	1	
					2012/1/18		0.17	1	0.08
					2012/1/16		0.11	1	
					2012/1/17 2012/1/18		0.056 0.056	1	0.07
33	沖縄県	国設辺戸岬酸性雨測定所	バックグラウ	離阜地域	2012/1/18		0.056	1	0.07
00	71 MB21		ンド地域	HIE 120 - 25 - 30	2011/12/19		0.030	1	
					2011/12/21		0.056	1	0.07
					2011/12/19		0.056	1	0.0.
					2011/12/20		0.056	1	
					2011/12/21		0.056	1	0.06
34	山口県	廃棄物処分場(山口県)	廃棄物処分場 周辺地域	3	2012/2/28		0.28	2	
			问及地域		2012/2/29		0.11	2	
					2012/3/2		0.17	2	0.17
					2012/2/28		0.11	2	
					2012/2/29		0.17	2	0.40
35	宮崎県	<u></u>	廃棄物処分場	1	2012/3/2		0.11	2	0.13
33	占峒木	冼来彻处万场(百峒 宋)	周辺地域	'	2012/2/27		0.11	2	
					2012/2/29		0.73	2	0.24
					2012/3/2		0.14	2	V.21
					2012/2/29		0.28	2	
					2012/3/2		0.39	2	0.25
36	京都府	廃棄物処分場(京都府)	廃棄物処分場 思知地域	3	2012/2/20		0.11	2	
			周辺地域		2012/2/21		0.17	2	
					2012/2/22		0.22	2	0.16
					2012/2/20		0.22	2	
					2012/2/21		0.22	2	
37	島根県	廃棄物処分場(島根県)	廃棄物処分場	1	2012/2/22		0.59	2	0.31
31	ᄶᄱᄧ	元末物だり物(両似末)	周辺地域	'	2012/2/27 2012/2/28		0.11 0.11	1	
					2012/2/28		0.11	1	0.11
					2012/2/29		0.17	2	0.11
					2012/2/28		0.056	1	
					2012/2/29		0.17	1	0.12
38	山口県	廃棄物処分場(山口県)	廃棄物処分場	2	2012/2/20		0.11	1	· · · · ·
			周辺地域		2012/2/21		0.17	2	
					2012/2/22		0.11	2	0.13
					2012/2/20		0.11	1	
					2012/2/21		0.17	2	
			L	j	2012/2/22		0.17	2	0.15

表 -1(4) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

							Ж	兰学顕微鏡	去
地点	都道府県名	地域名・事務所等	地域分類	参考地域分類	調査期間	箇所	(f/L)	フィルタ	幾何平均(f/L)
No.		11			10 ± 10 10	番号	総繊維	枚数	総繊維
39	愛媛県	廃棄物処分場(愛媛県)	廃棄物処分場	3	2012/2/20		0.056	1	
			周辺地域		2012/2/21		0.11	1	
					2012/2/22		0.45	2	0.14
					2012/2/20		0.11	1	
					2012/2/21		0.11	1	
					2012/2/22		0.22	2	0.14
40	宮崎県	廃棄物処分場(宮崎県)	廃棄物処分場	4	2012/2/20		0.11	1	
			周辺地域		2012/2/21		0.056	1	
					2012/2/22		0.056	1	0.07
					2012/2/20		0.056	1	
					2012/2/21		0.11	1	
					2012/2/22		0.056	1	0.07

参考地域分類

シラリ	5/3/7 共
1	石綿含有廃棄物を埋め立てている(許可あり)安定型最終処分場
2	石綿含有廃棄物を埋め立てていない(許可なし)安定型最終処分場
3	廃石綿等を埋め立てている(許可あり)管理型最終処分場
4	廃石綿等を埋め立てていない(許可なし)管理型最終処分場

表 -1(5) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果(解体現場)

		I	1				光学顕微鏡	法
地域	地域分類	参考地域分類	都道府県名	調査期間	地点番号	(f/L)	フィルタ	幾何平均(f/L)
番号				#3 <u>TT</u> 303 [=3	5 M H 3	総繊維	枚数	総 繊 維
						0.31	1	-
						0.39	1	-
41	解体現場	改修現場	埼玉県	平成24年2月2日		0.34	1	-
	761 11 · 76 W	200 12 000 20	3 = 21	1 124 - 1 - 73 - 14		0.17	1	-
					前室	0.28	2	-
					集じん出口	0.28	2	-
						0.51	1 1	-
						0.34	1 1	
42	解体現場	解体現場	埼玉県	平成24年2月3日		0.11	1	
					前室	2.0	2	-
		載維等の影響に			前室(灰化)	0.79	2	-
	たり能物	生があることから	11に温火化処理	を実施した。	集じん出口	0.51	2	-
	± +4% 4±5 4	# 笠の駅郷に	17 京 1 3 松 株 株 料	* * ± 30 ± + +		0.28	1	-
		推等 の 影 響 に よ が あ ることから 低				2.0	1	-
	1,18617	000000000000000000000000000000000000000			- (灰化)	0.11	1	-
						2.3	1	-
43	解体現場	改修現場	大阪府	平成24年2月7日	(灰化)	0.11	1	-
	1				* ~	0.22	1	-
	1				前室	1.5	2	-
	1				前室(灰化)	0.42	2	-
	-		 		集じん出口	0.36	1	-
						0.34	1 1	-
						0.17	1	
44	解体現場	改修現場	神奈川県	平成24年2月10日		0.11	1	_
					前室	0.17	2	-
					集じん出口	0.17	2	-
						0.056	1	-
						0.39	1	-
45	45 解体現場 改修現場 静岡	静岡県	平成24年2月17日		0.056	1	-	
43		15 四元	+ M, 2+ + 2/3 11 G		0.11	1	-	
					前室	1.0	2	-
					集じん出口	0.39	2	-
						0.45	1	-
						0.056	1	-
46	解体現場	改修現場	埼玉県	平成24年2月20日		0.11	1 1	-
40	肝 冲 坑 场	以珍玩场	埼玉宗	十 版 24年 2月 20日	前室	0.22 2.3	2	-
	有機繊維	主等の影響によ	り高い総繊維数	が計測された	前室(灰化)	1.3	2	
	可能性力	があることから低	温灰化処理を	実施した。	集じん出口	0.22	2	-
					水でル山口	0.17	1	-
	1					0.28	1	-
47	₩ /★ 18 +8	627 /★ IB ↓B	熟网 旧	亚世纪在2日24日		0.22	1	-
47	解体現場	解体現場	静岡県	平成24年2月21日		0.22	1	-
	1				前室	3.6	2	-
					集じん出口	0.14	2	-
						0.34	1	-
						0.62	1	-
48	解体現場	改修現場	山梨県	平成 24年 3月 8日		0.28	1 1	-
40	件 平 况 场	以以场	山米宗	〒 川		0.22	1	-
		主等の影響によ			前室 前室 (灰化)	3.5	2	-
		があることから低			集じん出口	0.34	2	-
	=				来 5 70 山 日	0.28	1	-
						0.17	1	-
						0.056	1	-
49	解体現場	解体現場	京 都 府	平成24年2月24日		0.056	1	-
	40 to t	 	<u> </u>		前室	計数不可	3	-
		tが多く、正確な 関を実施した	計数が困難であ	うった為、低温	前室(灰化)	7.4	3	-
		里を実 施した。			集じん出口	採取出来ず	-	-
	灰化处立					0.17	1	-
	灰化处式							
	灰化处理					0.056	1	-
50	解体現場	解体現場	愛知県	平成 24年 3月 2日		0.056 0.11	1	-
50		解体現場	愛知県	平成 24年 3月 2日	前室	0.056	1	-

青色で網掛けしている結果は、低温灰化した結果である。

表 -1(6) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果(破砕施設)

)	化学顕微鏡》	<u>.</u>
地点	都道府県名	地域名・事務所等	地域分類	参考地域分類	調査期間	箇所	(f/L)	フィルタ	幾何平均(f/L)
No.	即是的来口	20% 口 字(M/N) 寸	地域刀類	罗马地场刀换	响且规间	番号	総繊維	枚数	総繊維
51	埼玉県	破砕施設(埼玉県)	破砕施設	破砕施設	2012/2/14		2.4	3	
					2012/2/15		0.90	4	
					2012/2/16		0.45	4	0.99
					2012/2/14		4.2	3	
					2012/2/15		3.1	4	4.0
					2012/2/16 2012/2/14		6.1 0.51	3	4.3
					2012/2/14		1.9	4	
					2012/2/16		1.7	4	1.2
					2012/2/14		0.65	3	
					2012/2/15		1.4	4	
					2012/2/16		1.0	4	0.97
					2012/2/14		9.1	3	
					2012/2/15 2012/2/16		4.2 1.7	4	4.0
51	埼玉県	破砕施設(埼玉県)	破砕施設	破砕施設	2012/2/14		1.7	3	4.0
					2012/2/15		0.90	4	
]		2012/2/16		0.45	4	0.9
]		2012/2/14		2.3	3	
					2012/2/15		1.6	4	
		植物性繊維等の影響により	・ 高い総繊維数:	が計測され	2012/2/16		4.1	4	2.5
		た可能性があることから低温			2012/2/14		0.51	3 4	
					2012/2/15 2012/2/16		0.70	4	0.7
					2012/2/14		0.65	3	0.7
					2012/2/15		0.85	4	
					2012/2/16		1.0	4	0.8
					2012/2/14		2.8	3	
					2012/2/15		2.8	4	
52	千葉県		破砕施設	破砕施設	2012/2/16 2012/2/28		1.6 0.34	1	2.3
02	1 * * * *	W IT IIS IX (T X X)	WX FT //G IIX	WX FT IIS IIX	2012/2/29		0.11	1	
					2012/3/1		0.17	1	0.19
					2012/2/28		0.056	1	
					2012/2/29		0.056	1	
					2012/3/1		0.056	1	0.06
					2012/2/28		0.056	1	
					2012/2/29 2012/3/1		0.056 0.056	1	0.06
				1	2012/3/1		0.11	1	0.06
				1	2012/2/29		0.11	1	
				1	2012/3/1	1	0.11	1	0.11
]		2012/2/28		0.11	1	
				1	2012/2/29		0.11	1	0.65
53	東京都	破砕施設(東京都)	破砕施設	破砕施設	2012/3/1 2012/2/27		0.056 0.11	1	0.09
00	スショ	MARTHORA (ANAPP)	*** ** *** ***	70 PT 110 PX	2012/2/27		0.11	2	
				1	2012/3/1		0.43	1	0.20
				1	2012/2/27		0.28	1	
				1	2012/2/28		0.11	1	
]		2012/3/1		0.39	2	0.23
]		2012/2/27		0.56	2	
]		2012/2/28 2012/3/1		0.34	1	0.40
					2012/3/1		0.34	1	0.40
				1	2012/2/28		0.11	1	
				1	2012/3/1		0.28	1	0.15
				1	2012/2/27		0.28	3	
]		2012/2/28		0.28	1	
	= 2	 空で網掛けしている結果は、	低油 セルしき	 	2012/3/1		0.51	2	0.34

青色で網掛けしている結果は、低温灰化した結果である。 低温灰化した結果としてない結果が混在しているが、幾何平均を参考までに求めた。

表 -1(7) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果(破砕施設)

)	 . 学顕微鏡》	法
地点	都道府県名	地域名・事務所等	地域分類	参考地域分類	調査期間	箇所	(f/L)	フィルタ	幾何平均(f/L)
No.	HPZ/IJ/K LI	76% T 43M/14	76-3,71 XX	> 3~6~3,71 XX		番号	総繊維	枚数	総繊維
54	埼玉県	破砕施設(埼玉県)	破砕施設	破砕施設	2012/3/1		0.34	1	
					2012/3/3		0.79	1	
					2012/3/6		0.85	4	0.61
					2012/3/1		0.25	1	
					2012/3/3		0.28	1	
					2012/3/6		0.39	3	0.30
					2012/3/1		0.85	2	
					2012/3/3		0.28	3	
					2012/3/6		0.79	4	0.57
					2012/3/1		0.11	1	
					2012/3/3		0.73	2	
					2012/3/6		0.22	3	0.26
					2012/3/1		0.62	3	
					2012/3/3		0.73	3	
					2012/3/6		0.56	4	0.63

(注)(1)地域分類: 以下の14種類に分かれている。

1. 内陸山間地域

2. 離島地域

3. 【継続】旧石綿製品製造事業場等 : 平成7年度、平成17~22年度と同一の調査地域 : 平成7年度、平成17~22年度と同一の調査地域 4. 【継続】廃棄物処分場等 5. 【継続】蛇紋岩地域 : 平成7年度、平成17~22年度と同一の調査地域 6. 【継続】高速道路及び幹線道路沿線 : 平成7年度、平成17~22年度と同一の調査地域 7. 【継続】内陸山間地域 : 平成7年度、平成17~22年度と同一の調査地域 8. 【継続】離島地域 : 平成7年度、平成17~22年度と同一の調査地域 9. 【継続】住宅地域 : 平成7年度、平成17~22年度と同一の調査地域 : 平成7年度、平成17~22年度と同一の調査地域 10. 【継続】商工業地域 : 平成7年度、平成17~22年度と同一の調査地域 11. 【継続】農業地域

12. 廃棄物処分場等

13. 解体現場等 (大防法届出対象) : 大気汚染防止法に規定する「特定粉じん排出等作業」の届出の対象 となる作業現場

14. 破砕施設

(2) 地域名 :解体現場等の地域名については、具体的な地域名を非公表とすることを条件に調査を実施したため、 空欄にしている。

(3) 測定箇所番号 : 各地域で複数の調査地点を設けている。例えば、調査地点が1地点に4箇所ある場合、 、 、 、 と測定箇所番号をつけている。

(4) 地点分類 :解体現場等における「周辺」、「セキュリティゾーン前」及び「集じん出口」を表している。なお、解体現場等における「周辺」とは、解体現場等の直近で一般の人の通行等がある場所との境界、「セキュリティゾーン前」とは、作業員が出入りする際に石綿が直接外部に飛散しないように設けられた室の入口の外側、「集じん出口」とは、集じん・排気装置の外部への排気口付近を意味している。

(5) 繊維数濃度 : 各測定箇所の総繊維濃度の評価に当たっては、平成元年12月27日付け環大企第490号通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行について」に基づき、各測定箇所で3日間(4時間×3回)測定して得られた個々の測定値を測定箇所ごとに幾何平均し、その値を当該地点の総繊維濃度としている。また、解体現場等においては、解体等の工事には短期間で終了するものがあるため、各測定箇所で1日間(4時間×1回)測定し、その測定値を当該地点における総繊維濃度としている。なお、NDは繊維未検出のことを示している。総繊維濃度は、位相差顕微鏡によって繊維状に見える粒子の計数結果から算出したものである。

2.総合的な検証・評価等

) 風向・風速の影響について

大気環境中の総繊維濃度に対する風の影響は、下記の2種類が想定される。

排出源の風上では排出源からの影響を適切に把握できない。

その他の地域でも、強風時は弱風時に比べ総繊維が拡散して濃度が減少する可能性がある。そこで、本調査のサンプリング時における風向・風速の状況について確認した。

発生源周辺地域(旧石綿製品製造事業場等、廃棄物処分場等、解体現場等、蛇紋岩地域、高速道路及び幹線道路沿線)における風向・風速の影響に関する解析結果を表 - 2に、バックグラウンド地域(住宅地域、商工業地域、農業地域、内陸山間地域、離島地域)における風向・風速の影響に関する解析結果を表 - 3に示す。

発生源周辺地域では、ほとんどの地点において風が弱く、サンプリング時における平均風速は5m/s 以下であったことから、全ての計数結果を採用することとした。

バックグラウンド地域については、サンプリング時における平均風速は5m/s 以下であった。 風速5m/s 以上の風は観測されなかったことから、全ての計数結果を採用することとした。

なお、発生源周辺地域における風向・風速の状況と調査地点の位置関係については、添付資料1「風の解析結果」に詳細に記載した。

表 - 2 発生源周辺地域における風向・風速の影響に関する解析結果

	地域名	風速 データ数	平均風速 (m/s)	最大風速 (m/s)	5m以上の 風速の有無	判定	採用とする理由
2	(株)/ザワフラ/事業所(旧北海道工場)	27	0.4	0.8	無	全て採用	全体的に風が弱い
12	中央防波堤埋立処分場	27	1.1	1.6	無	全て採用	全体的に風が弱い
15	川崎市幹線道路	27	0.6	0.9	無	全て採用	全体的に風が弱い
17		27	<0.4	<0.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
18	堺第7-3区廃棄物処分場(旧中間処理センター)	27	3.6	4.9	無	全て採用	最大風速が5.0m/s未満
25	山陽自動車道五日市インター	27	0.4	0.6	無	全て採用	全体的に風が弱い
29	国道3号線千鳥橋交差点	27	1.0	2.1	無	全て採用	全体的に風が弱い
30	糟屋郡旧蛇紋岩採石場(岩本工業)	27	0.5	1.7	無	全て採用	全体的に風が弱い
34	廃棄物処分場(山口県)	27	0.9	1.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
35	廃棄物処分場(宮崎県)	27	1.0	1.8	無	全て採用	全体的に風が弱い
36	廃棄物処分場(京都府)	27	0.5	1.5	無	全て採用	全体的に風が弱い
37	廃棄物処分場(島根県)	27	0.6	1.3	無	全て採用	全体的に風が弱い
38	廃棄物処分場(山口県)	27	0.6	1.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
39	廃棄物処分場(愛媛県)	27	1.9	3.6	無	全て採用	全体的に風が弱い
40	廃棄物処分場(宮崎県)	27	0.7	2.1	無	全て採用	全体的に風が弱い
41	解体現場(埼玉県)	9	4.3	4.9	無	全て採用	最大風速が5.0m/s未満
42	解体現場(埼玉県)	9	<0.4	<0.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
43	解体現場(大阪府)	9	<0.4	<0.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
44	解体現場(神奈川県)	9	<0.4	<0.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
45	解体現場(静岡県)	9	0.4	0.5	無	全て採用	全体的に風が弱い
46	解体現場(埼玉県)	9	<0.4	<0.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
47	解体現場(静岡県)	9	0.4	0.5	無	全て採用	全体的に風が弱い
48	解体現場(山梨県)	9	<0.4	<0.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
49	解体現場(京都府)	9	<0.4	<0.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
50	解体現場(愛知県)	9	<0.4	<0.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
51	破砕施設(埼玉県)	27	0.6	1.5	無	全て採用	全体的に風が弱い
52	破砕施設(千葉県)	27	<0.4	<0.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
53	破砕施設(東京都)	27	0.6	1.2	無	全て採用	全体的に風が弱い
54	破砕施設(埼玉県)	27	0.4	0.7	無	全て採用	全体的に風が弱い

表 -3 バックグラウンド地域における風向・風速

	地域名	風速 データ数	平均風速 (m/s)	最大風速 (m/s)	5m以上の 風速の有無	判定	採用とする理由
1	富良野市住宅地域	27	0.5	0.8	無	全て採用	全体的に風が弱い
13	東京都環境科学研究所	27	0.5	1.1	無	全て採用	全体的に風が弱い
14	川崎市公害研究所	27	1.1	1.7	無	全て採用	全体的に風が弱い
16	名古屋市住宅地域	27	0.5	1.1	無	全て採用	全体的に風が弱い
19	堺港湾合同庁舎(臨海センター南側庭園)	27	2.4	4.0	無	全て採用	最大風速が5m/s未満
20	国設一般大気環境測定局前及び尼崎市労働センター 中庭	27	0.8	1.2	無	全て採用	全体的に風が弱い
21	双子川浄苑	27	<0.4	<0.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
22	県保健環境研究センター及び県奈良総合庁舎	27	0.5	1.2	無	全て採用	全体的に風が弱い
23	国設隱岐局	27	<0.4	<0.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
24	南原峡県立自然公園	27	0.5	1.2	無	全て採用	全体的に風が弱い
26	国設筑後小郡環境大気測定所	27	1.1	2.7	無	全て採用	全体的に風が弱い
27	千石の郷	27	0.8	1.7	無	全て採用	全体的に風が弱い
28	福岡市住宅地域(吉塚西住宅)	27	1.2	3.4	無	全て採用	全体的に風が弱い
31	小川島	27	0.6	1.8	無	全て採用	全体的に風が弱い
32	国設対島酸性雨測定所	27	0.8	1.8	無	全て採用	全体的に風が弱い
33	国設辺戸岬酸性雨測定所	27	1.7	2.4	無	全て採用	全体的に風が弱い

) 地域分類別の測定結果

地域分類別に大気環境中の総繊維濃度を最小値、最大値、幾何平均値別に集約した。なお、 集計に当たっては、ND値を「計数視野全体で1本の繊維が計数された」と想定して幾何平 均値を算出し、その値を用いて最小値、最大値、幾何平均値を求めた。光学顕微鏡法による 地域分類別の計数結果の集約表を表 - 4及び図 - 1に示す。

光学顕微鏡法による計数結果を集約したところ、総繊維数濃度は総合計125データのうち、115データが1.0本/L以下であった。

表 - 4 光学顕微鏡法による地域分類別の計数結果集約表

【総		

【総約以2年致】								
		地点数	測定	測定		*	総繊維数濃度	Ī
	地域分類		箇所数	データ数	NDの数	最小値	最大値	幾何平均值
			回门奴	J 7 5X		(本/L)	(本/L)	(本/L)
	旧石綿繊維製造事業場等	1	6	6	0	0.07	0.13	0.10
発生源周	廃棄物処分場等	9	18	18	0	0.07	0.31	0.15
光主 <i>际同</i> 辺地域	解体現場 (敷地周辺)	10	40	40	0	0.06	2.3	0.21
2276736	蛇紋岩地域	1	2	2	0	0.09	0.11	0.10
	高速道路及び幹線道路沿線	4	8	8	0	0.12	0.34	0.21
	住宅地域	4	7	7	0	0.06	0.19	0.10
バックグラ	商工業地域	5	10	10	1	0.06	0.26	0.12
ウンド地域	農業地域	1	2	2	0	0.16	0.21	0.18
77176236	内陸山間地域	2	4	4	0	0.06	0.13	0.09
	離島地域	4	8	8	1	0.06	0.11	0.07
その他の地域	破砕施設	4	20	20	0	0.06	4.3	0.37
合計		45	125	125	2			

	地点数	測定 箇所数	測定 データ数	NDの数	総繊維数濃度			
(参考)排気口などにおける調査結果					最小値 (本/L)	最大値 (本/L)	幾何平均値 (本/L)	
解体現場(セキュリティゾーン前)	(10)	10	10	0	0.17	注7) 7.4	1.2	
解体現場(集じん出口)	(9)	9	9	0	0.14	0.51	0.27	
合計	(10)	19	19	0				

- 注1)「解体現場」とは、建築物等の解体、改造または補修作業現場を意味している。また、「敷地境界」とは、解体現場等の直近で一般の人の通行等がある場所との境界。「セキュリティゾーン前」とは、作業員が出入りする際に石綿が直接外部に飛散しないように設けられた室の入口の外側、「集じん出口」とは、集じん・排気装置の外部への排気口付近を意味している。
 - 平成22年度アスベスト大気濃度調査に関する検討結果に基づき、これまで前室付近としていたものを「セキュリティゾーン前」とし、排気口付近としていたものを「集じん出口」とした。
- 注2)各測定箇所の石綿濃度の評価に当たっては、平成元年12月27日付け環大企第490号通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行について」に基づき、注3)の場合を除き、各地点で3日間(4時間×3回)測定して得られた個々の測定値を地点ごとに幾何平均し、その値を当該地点の石綿濃度としている。
- 注3)解体現場等においては、解体等の工事には短期間で終了するものがあるため、各地点で1日間(4 時間×1回)測定し、その測定値を当該地点における総繊維濃度としている。
- 注4) ND(不検出)の場合には「計数した視野(100視野)で1本の繊維が計数された」と仮定して算出した値に「未満」を付けて記載している。
- 注5)表中の()内の数値は地域数における内数である。
- 注6) 平成22年度アスベスト大気濃度調査に関する検討結果に基づき、これまで地域としていたものを「地点」とし、地点としていたものを「箇所」とした。
- 注7)解体現場(セキュリティゾーン前)の最大値7.4本/Lは、粉じんの夾雑物を取り除くために低温灰化処理を行った濃度である。

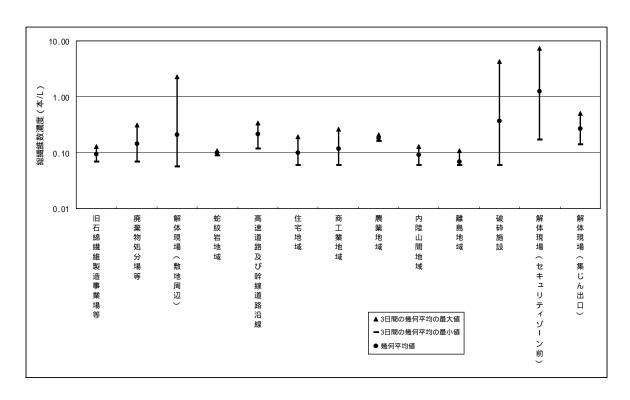


図 - 1 光学顕微鏡法による地域分類別の計数結果

)総繊維濃度が高かった地点における追加調査結果

光学顕微鏡法による測定の結果、総繊維濃度又は無機質総繊維濃度が1本/Lを超えた地点(5地点、11箇所、11試料)についてはアスベストモニタリングマニュアル(第4.0版)に従って、分析走査電子顕微鏡法による測定を行った。計数結果を表 - 5に示す。

46埼玉県の解体現場 セキュリティーゾーン前の光学顕微鏡法による総繊維濃度が2.3本/Lであった。分析走査電子顕微鏡法による分析結果は、クロシドライト3%、アモサイト6%の割合であった。これは事前調査のクリソタイル含有結果と異なる繊維が検出された。

47静岡県の解体現場 セキュリティーゾーン前の光学顕微鏡法による総繊維濃度が3.6本/Lであったが、分析走査電子顕微鏡法による分析の結果は石膏又は有機繊維であり、石綿は検出されなかった。

48山梨県の解体現場 セキュリティーゾーン前の光学顕微鏡法による総繊維濃度が3.5本/Lであった。分析走査電子顕微鏡法による分析結果は、クロシドライト10%、アモサイト10%、トレモライト2%の割合であった。これは事前調査のクリソタイル含有結果と異なる繊維が検出された。この現場では測定時に除去作業とは別に床のPタイル撤去作業や重機による木枠の撤去作業が行われており、その影響が考えられる。

49京都府の解体現場 セキュリティーゾーン前は、解体重機の影響により粉じん量が多く、総繊維数濃度は計数不可であった為、低温灰化による無機質繊維として計数し7.4本/Lであった。分析走査電子顕微鏡法による分析の結果は、無機質繊維中の割合としてクリソタイル35%、アモサイト20%の石綿が検出された。事前調査ではクリソタイル含有の吹付け材でアモサイト含有の情報は無かった。

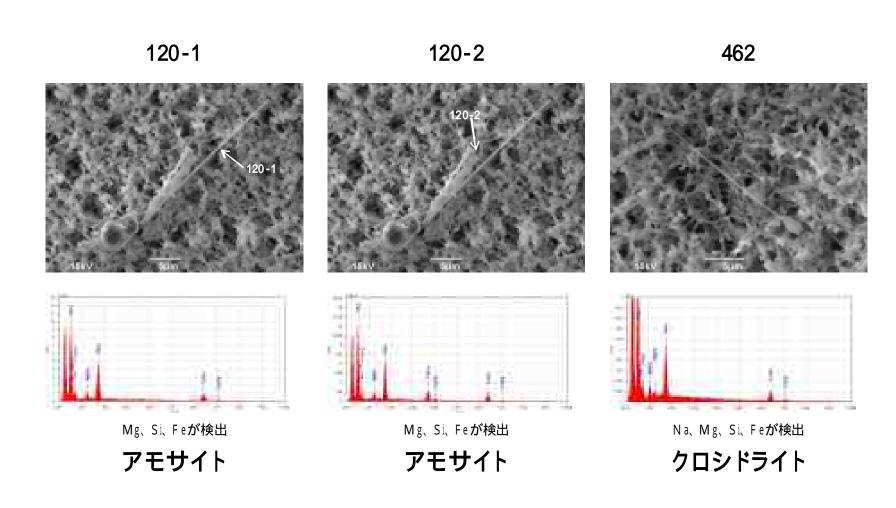
51埼玉県の破砕施設 敷地境界1日目、 敷地境界1~3日目、 破砕施設周辺1~3日目の光学顕微鏡法による総繊維濃度がそれぞれ が2.4本/L、が4.2本/L、3.1本/L、6.1本/L、が9.1本/L、4.2本/L、1.7本/Lであった。分析走査電子顕微鏡法による分析の結果は、がアモサイト3%、 1日目がアモサイト1%、 2日目は石綿検出されず、 3日目がアモサイト1%、 1日目がクリソタイル2%・アモサイト3%、 2日目がクリソタイル1%、 3日目は石綿検出されなかった。この破砕施設で測定時に破砕していたものは、主に木屑であった。

表 -5 総繊維濃度の高かった地点における追加調査結果

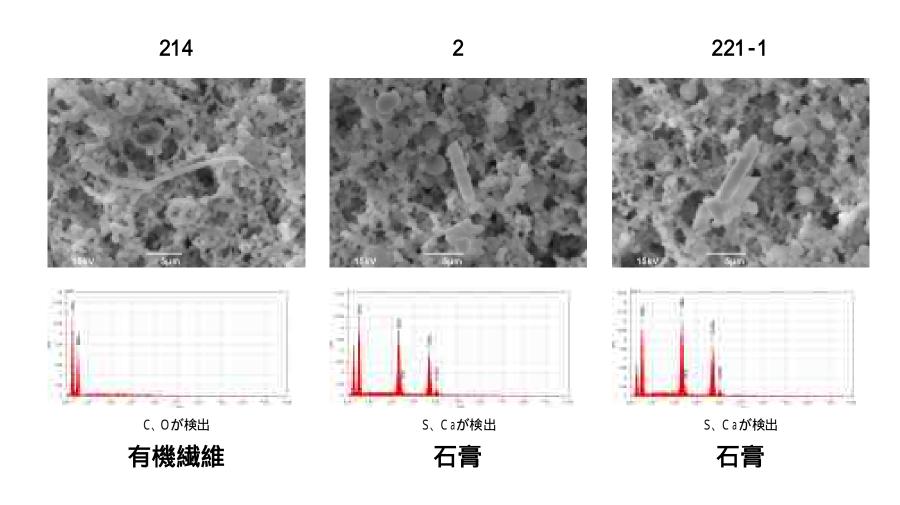
	7	表 -5 総繊維	 推濃度の高	うかつ <i>に</i>						
		光学顕微鏡法 分析走査電子顕微鏡法(長さ5μm以上、幅0.2μm以上)								
都道府県	測定置	節所	繊維数濃度 (f/L)			i	繊維数割合(%)		
			総繊維数	クリソタイル	クロシド ライト	アモサイト	ŀレ₹ライト	アンソフィライト	アクチノライト	その他の 繊維
埼玉県解位		46- 1/2	2.3	0	6	12	0	0	0	82
	解体現場	46- 2/2	2.3	0	0	0	0	0	0	100
		46- の平均値	2.3	0	3	6	0	0	0	91
静岡県	解体現場	47- 1/2	5.3	0	0	0	0	0	0	100
		47- 2/2	1.8	0	0	0	0	0	0	100
		47- の平均値	3.6	0	0	0	0	0	0	100
山梨県	解体現場	48- 1/2	4.7	0	7	16	3	0	0	74
		48- 2/2	2.3	0	14	4	0	0	0	82
		48- の平均値	3.5	0	10	10	2	0	0	78
	解体現場	49- 1/3	6.6 (無機質繊維)	42	0	0	0	0	0	58
= 和应		49- 2/3	12 (無機質繊維)	25	0	50	0	0	0	25
京都府		49- 3/3	4.0 (無機質繊維)	40	0	0	0	0	0	60
		49- の平均値	7.4 (無機質繊維)	35	0	20	0	0	0	45
		511-1	4.5	0	0	0	0	0	0	100
		511-2	2.0	0	0	7	0	0	0	93
		511-3	0.85	0	0	0	0	0	0	100
		511 の平均値	2.4	0	0	3	0	0	0	97
	破砕施設	511-1	4.5	0	0	5	0	0	0	95
		511-2	7.4	0	0	0	0	0	0	100
		511-3	0.68	0	0	0	0	0	0	100
		511 の平均値	4.2	0	0	1	0	0	0	99
		512-1	1.8	0	0	0	0	0	0	100
		512-2	3.8	0	0	0	0	0	0	100
		512-3	2.9	0	0	0	0	0	0	100
		512-4	4.0	0	0	0	0	0	0	100
		512 の平均値	3.1	0	0	0	0	0	0	100
		513-1	10	0	0	2	0	0	0	98
埼玉県		513-2	5.8	0	0	2	0	0	0	98
		513-3	6.5	0	0	0	0	0	0	100
		513-4	2.1	0	0	0	0	0	0	100
		513 の平均値	6.1	0	0	1	0	0	0	99
		511-1	13	4	0	1	0	0	0	95
		511-2	13	0	0	5 0	0	0	0	95
		511-3	0.17	0	0					100
		511 の平均値	9.1	2	0	3	0	0	0	95
		512-1 512-2	4.8 9.3	3	0	0	0	0	0	100 97
		512-2	1.3	0	0	0	0	0	0	100
		512-4	1.5	0	0	0	0	0	0	100
		512 の平均値	4.2	1	0	0	0	0	0	99
		513-1	4.5	0	0	0	0	0	0	100
		513-2	0.45	0	0	0	0	0	0	100
		513-3	1.1	0	0	0	0	0	0	100
		513-4	0.68	0	0	0	0	0	0	100
		513 の平均値	1.7	0	0	0	0	0	0	100
<u> </u>		場の繊維数	進中は	业八 1 * / 三	⊒がクノ	.T.7\\\\ +\\\\\\	1 *h 48 T	## +-	+ +-	/ 1717 十

注1)京都府解体現場の繊維数濃度は、粉じん量が多く正確な計数が困難であった為、低温灰化処理を行い計数した無機質繊維数濃度である。また、表中の繊維数割合は無機質繊維中の割合を示している。

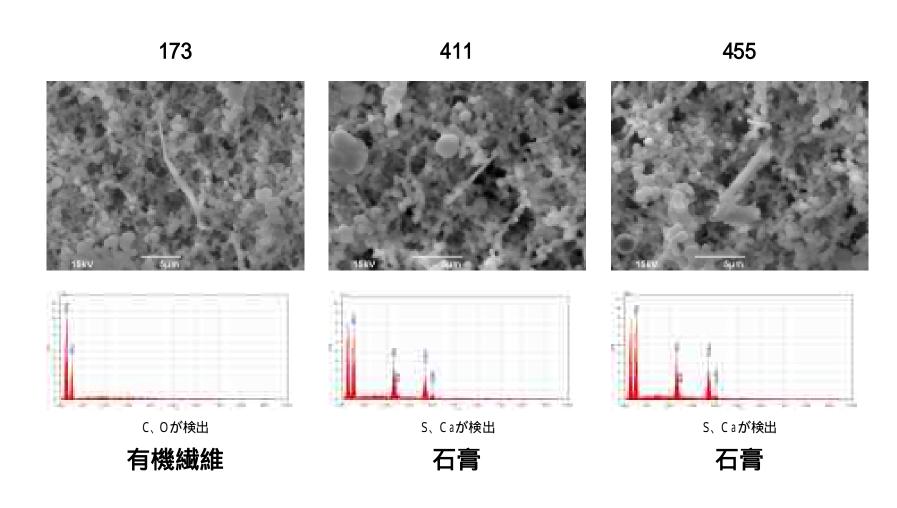
地点46- -1における繊維の組成



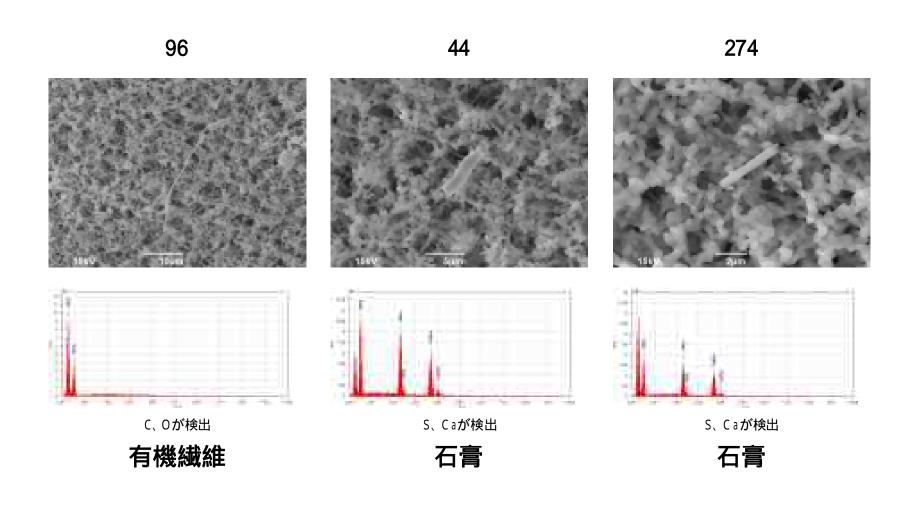
地点46- -2における繊維の組成



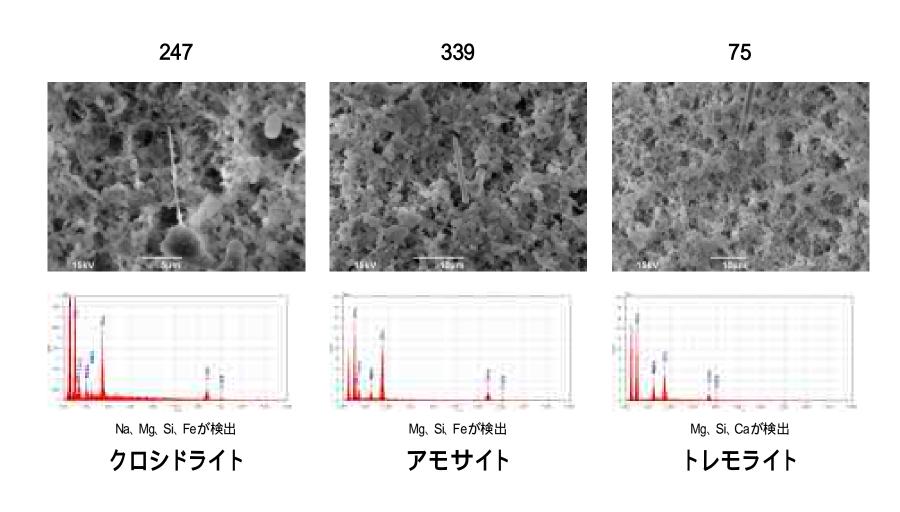
地点47- -1における繊維の組成



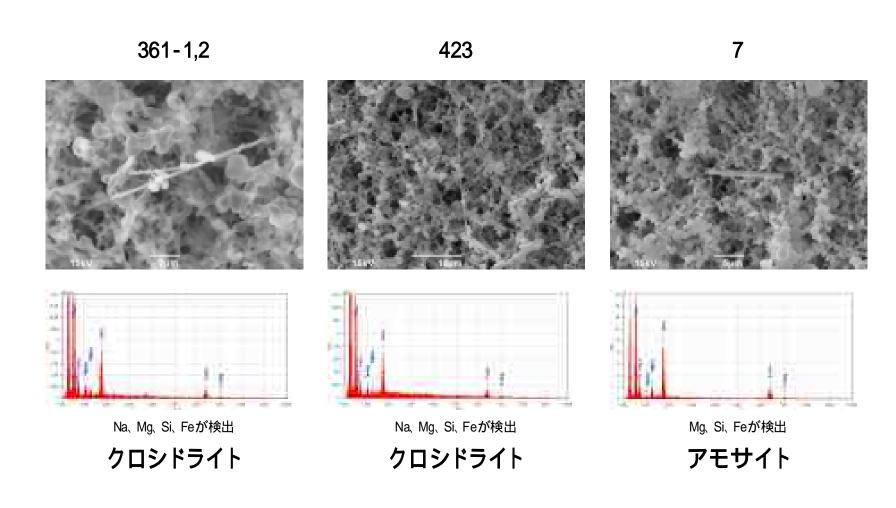
地点47- -2における繊維の組成



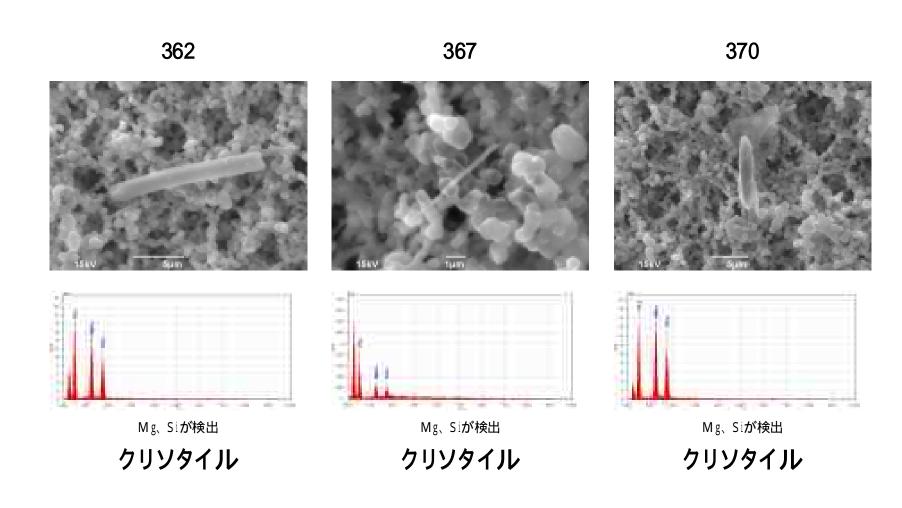
地点48- -1における繊維の組成



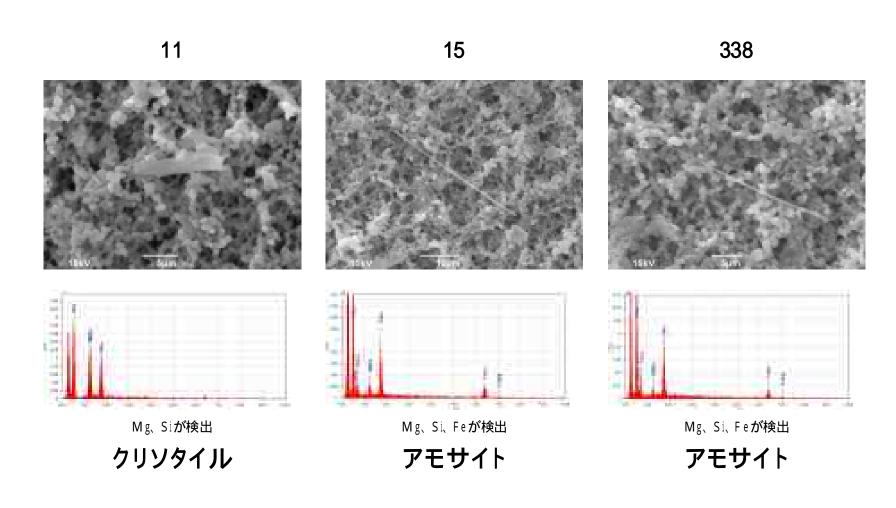
地点48- -2における繊維の組成



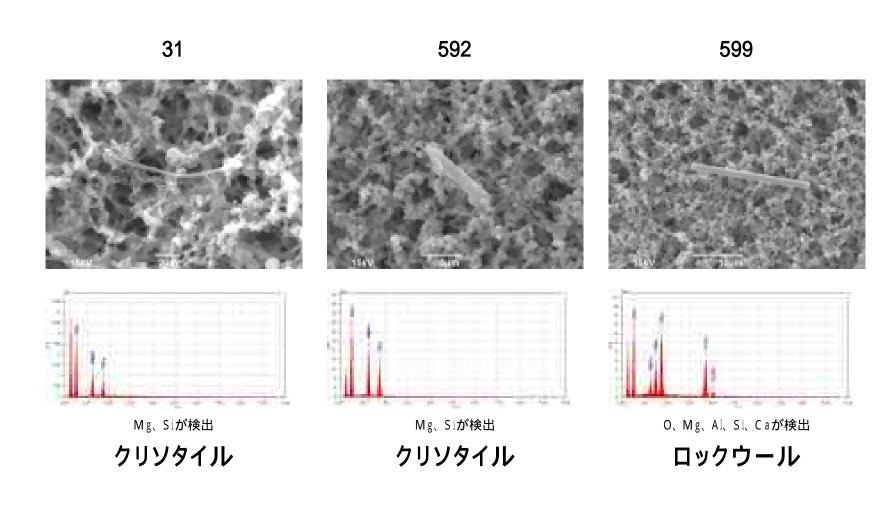
地点49- -1における繊維の組成



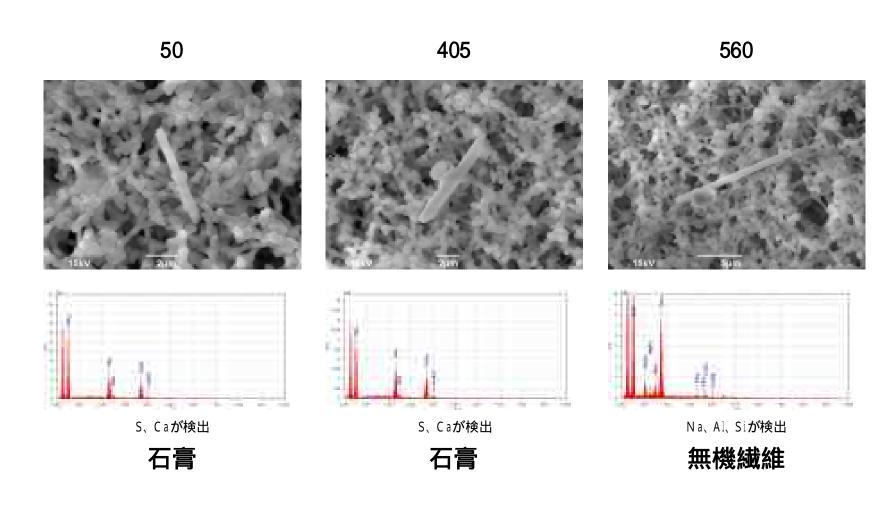
地点49- -2における繊維の組成



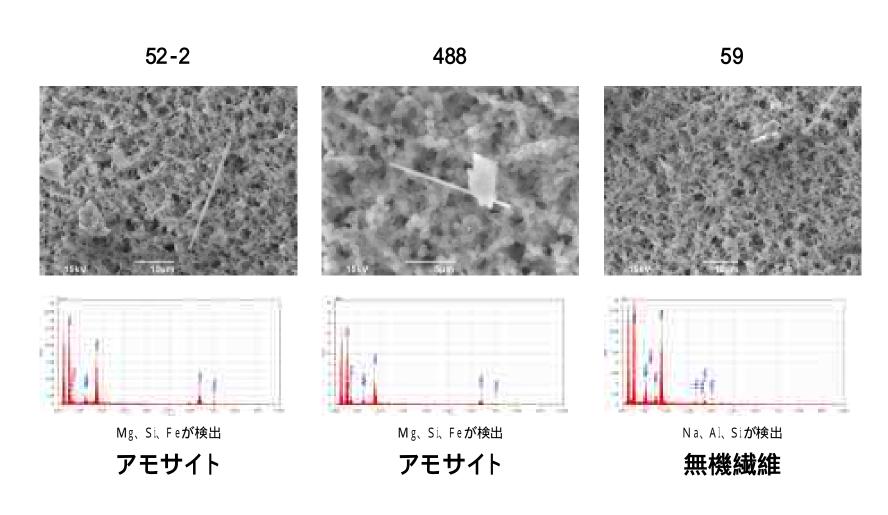
地点49- -3における繊維の組成



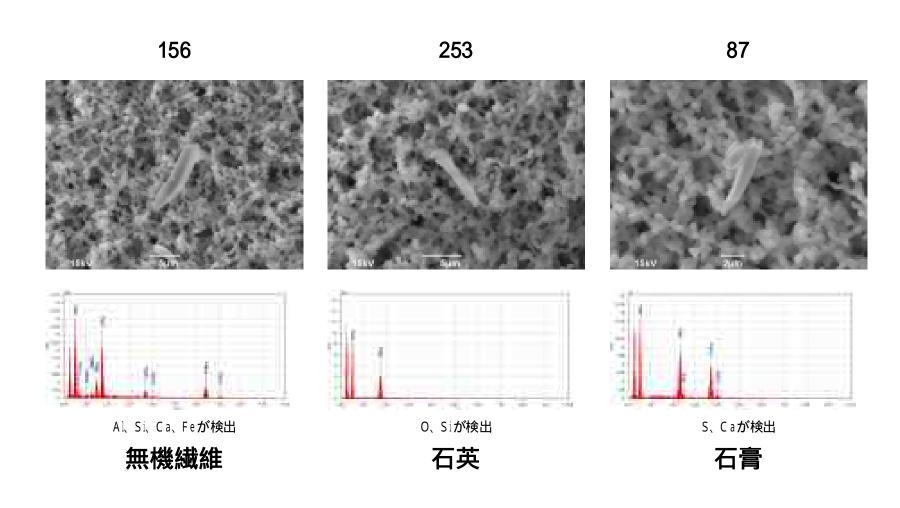
地点51- -1-1における繊維の組成



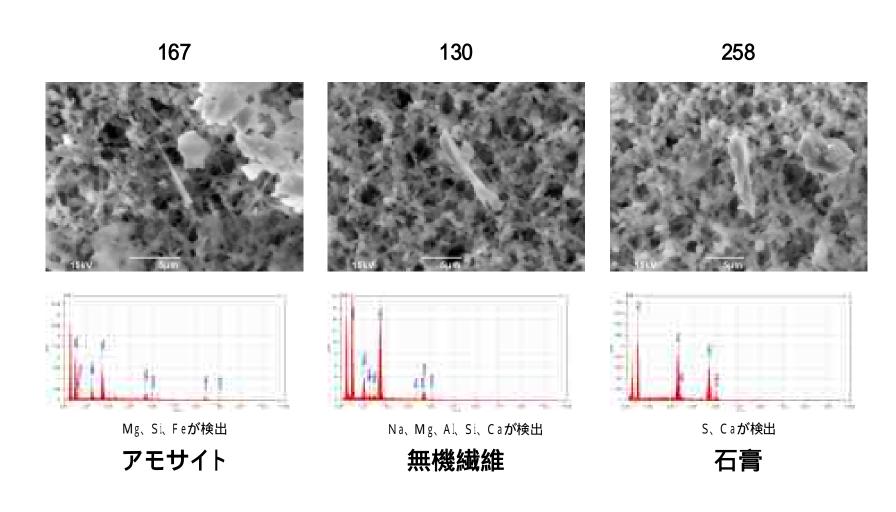
地点51- -1-2における繊維の組成



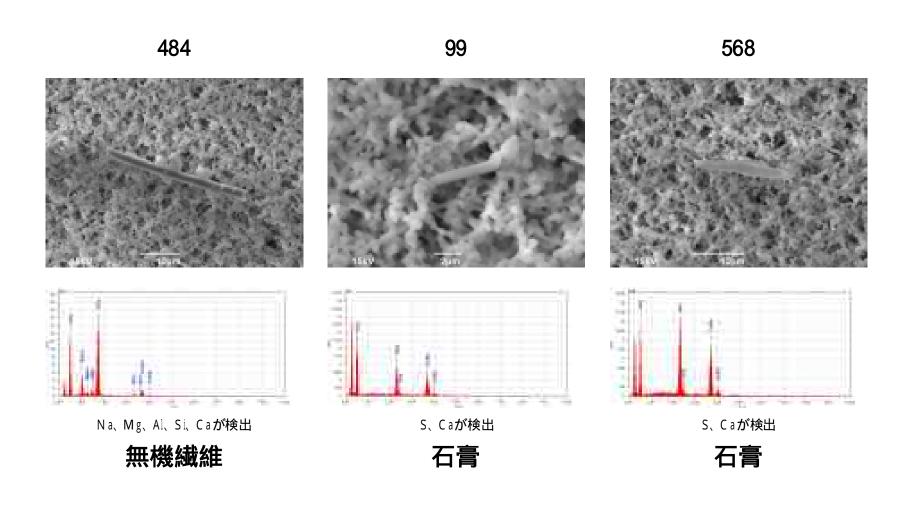
地点51- -1-3における繊維の組成



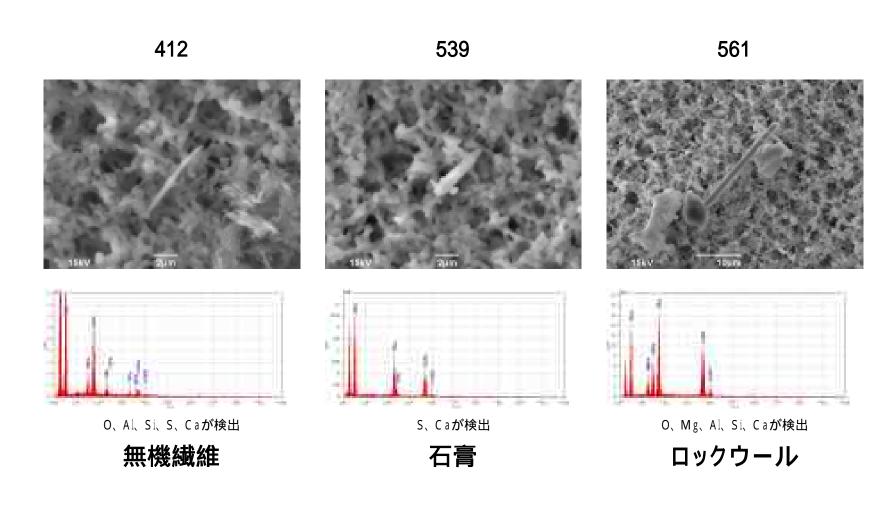
地点51- -1-1における繊維の組成



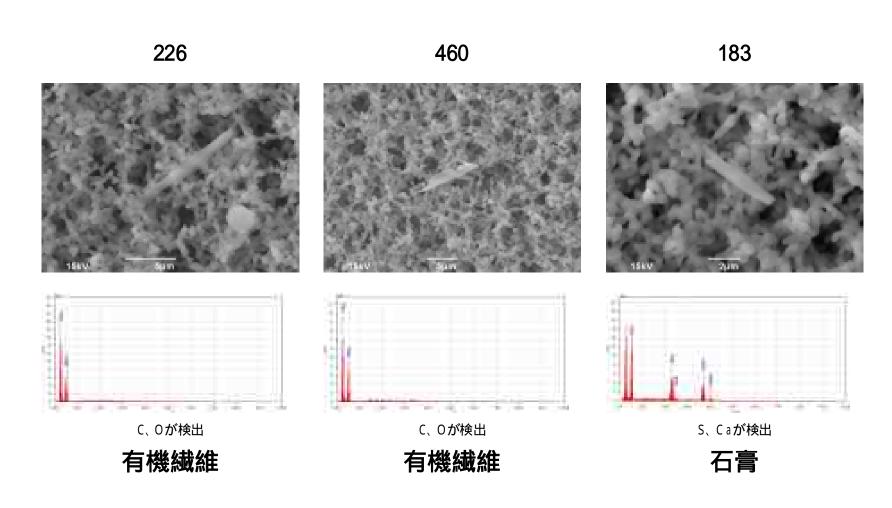
地点51- -1-2における繊維の組成



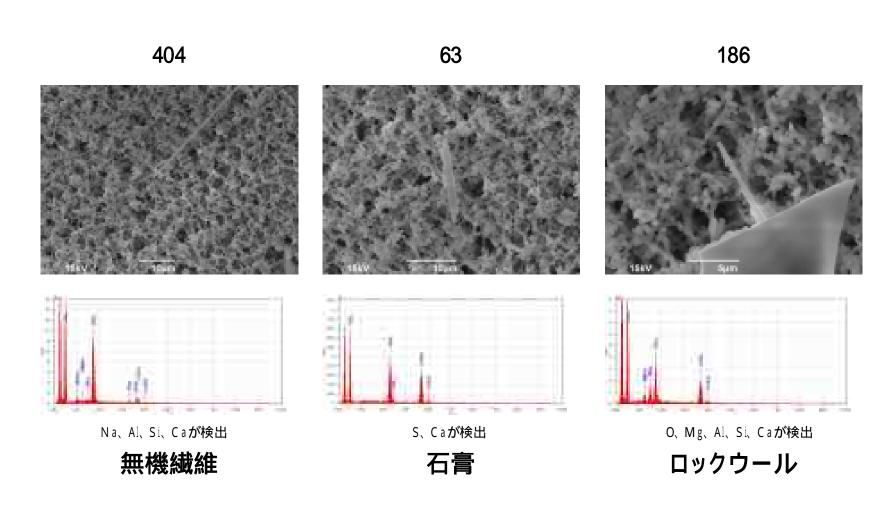
地点51- -1-3における繊維の組成



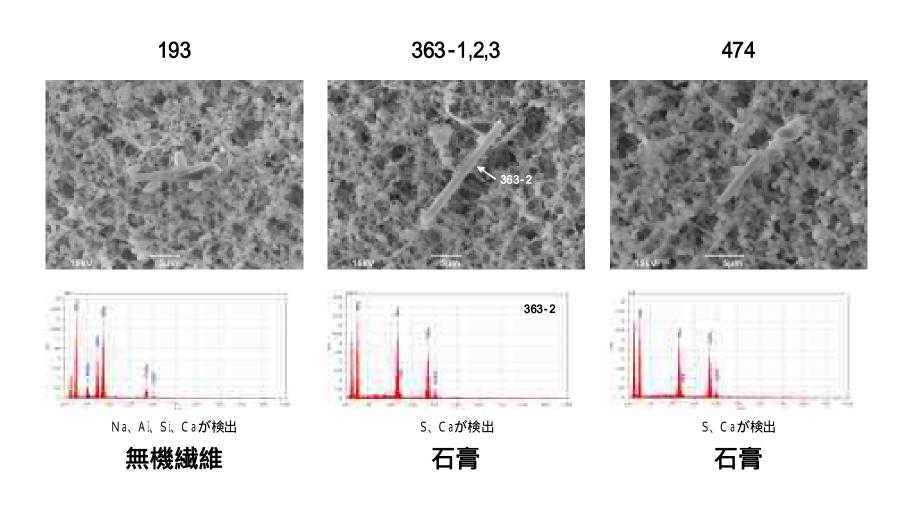
地点51- -2-1における繊維の組成



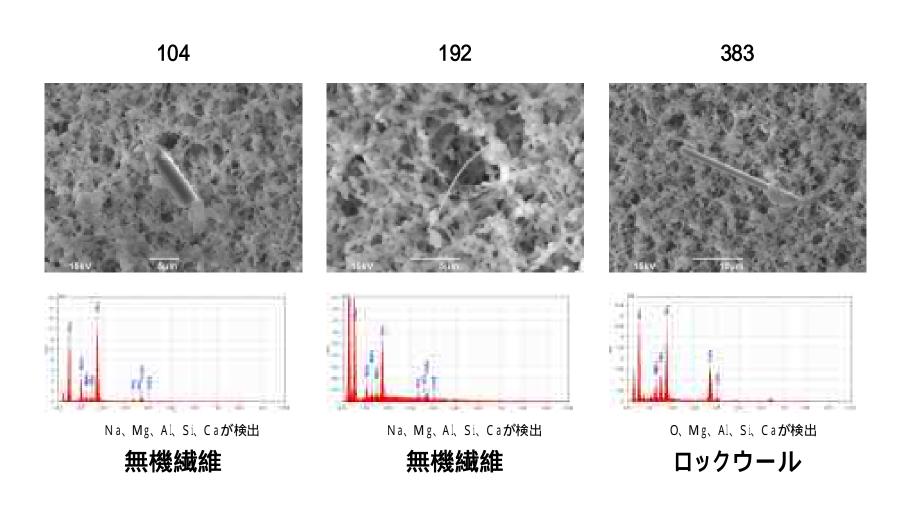
地点51- -2-2における繊維の組成



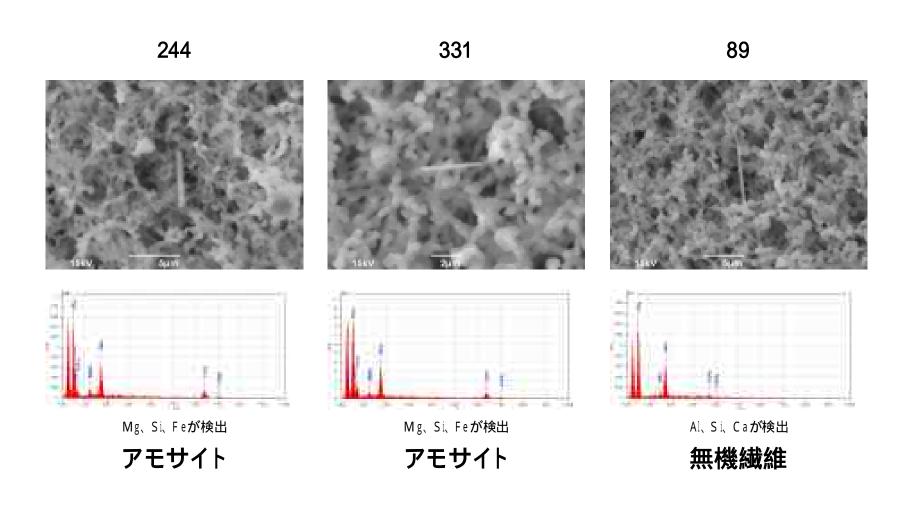
地点51- -2-3における繊維の組成



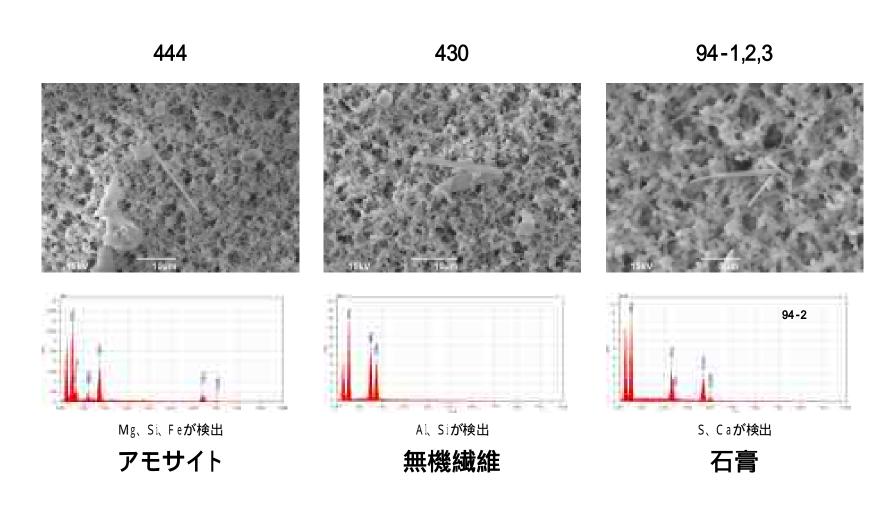
地点51- -2-4における繊維の組成



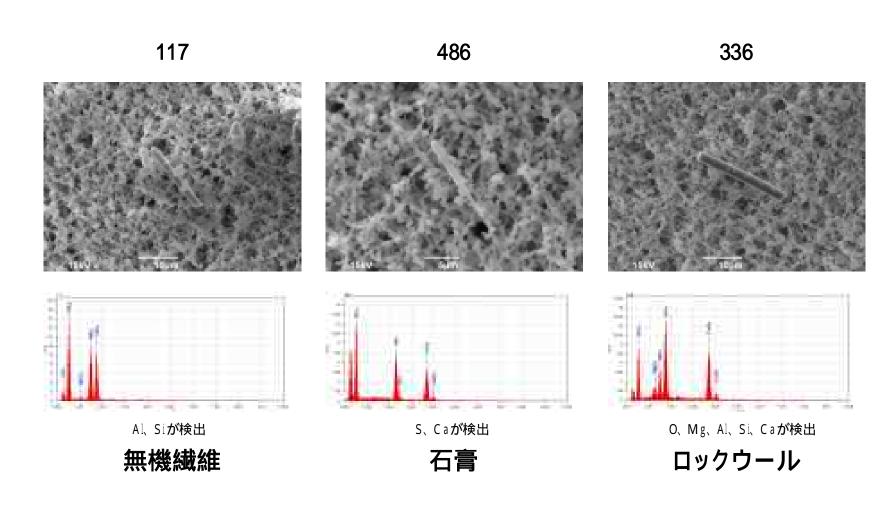
地点52- -3-1における繊維の組成



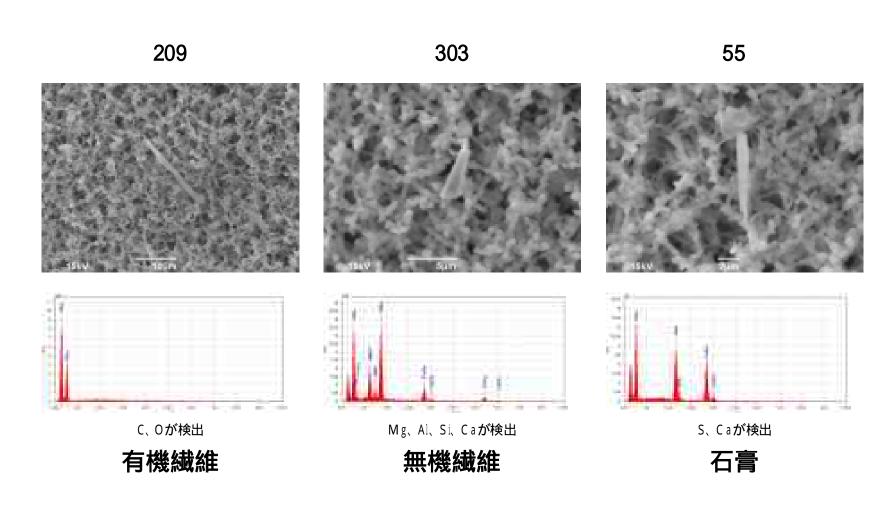
地点52- -3-2における繊維の組成



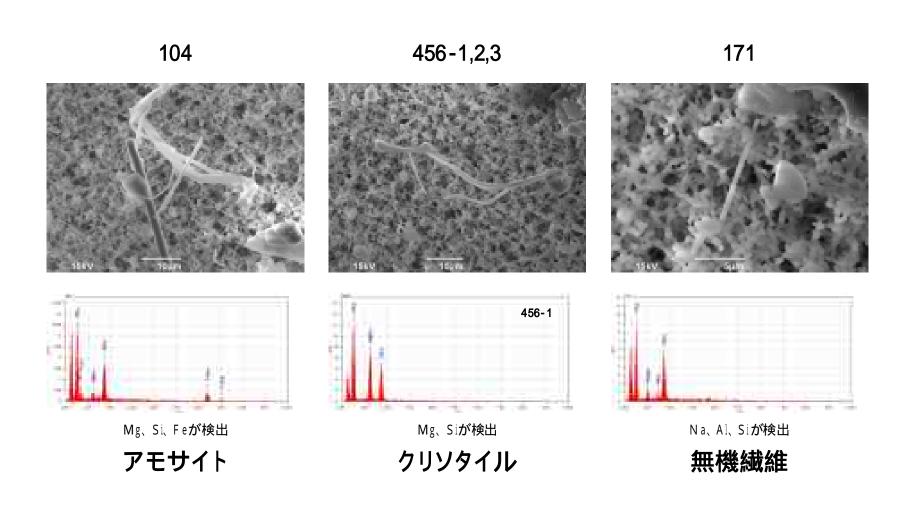
地点52- -3-3における繊維の組成



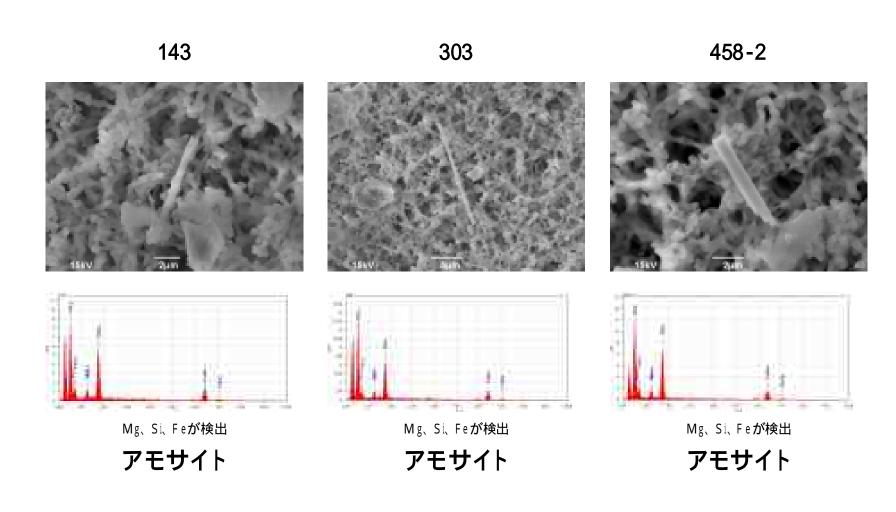
地点52- -3-4における繊維の組成



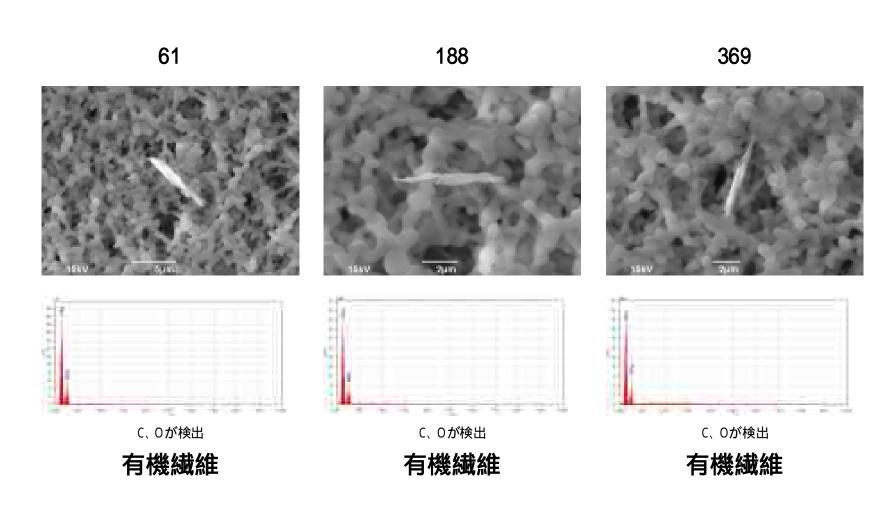
地点51- -1-1における繊維の組成



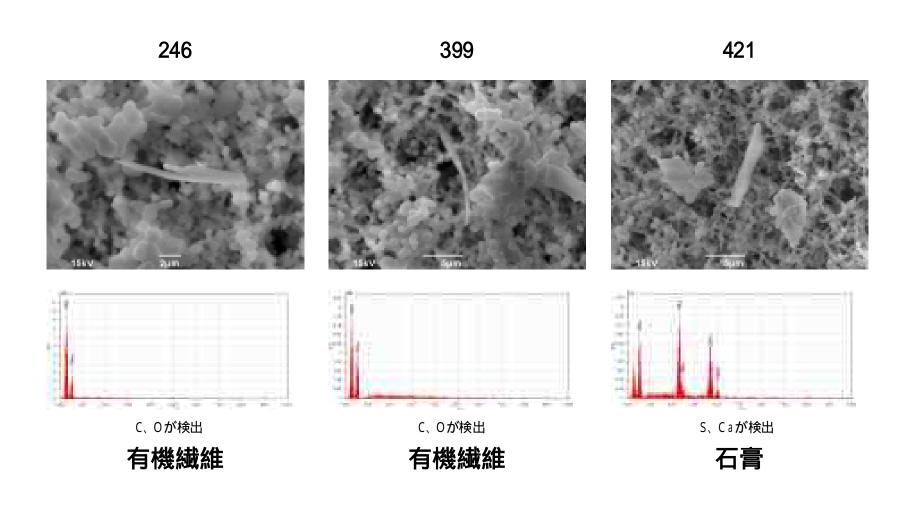
地点51- -1-2における繊維の組成



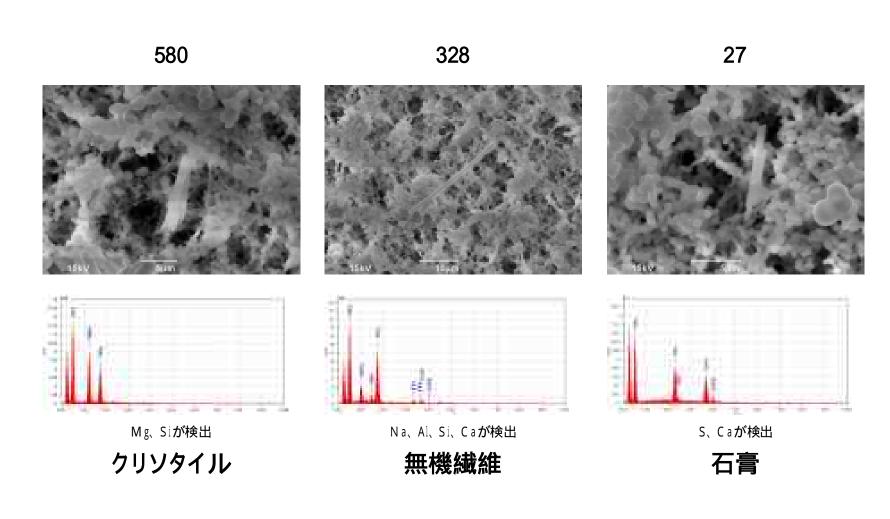
地点51- -1-3における繊維の組成



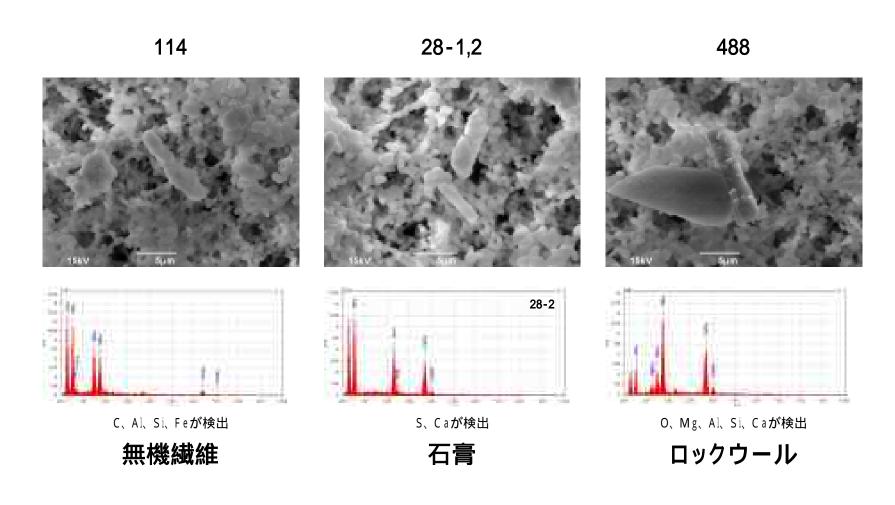
地点51- -2-1における繊維の組成



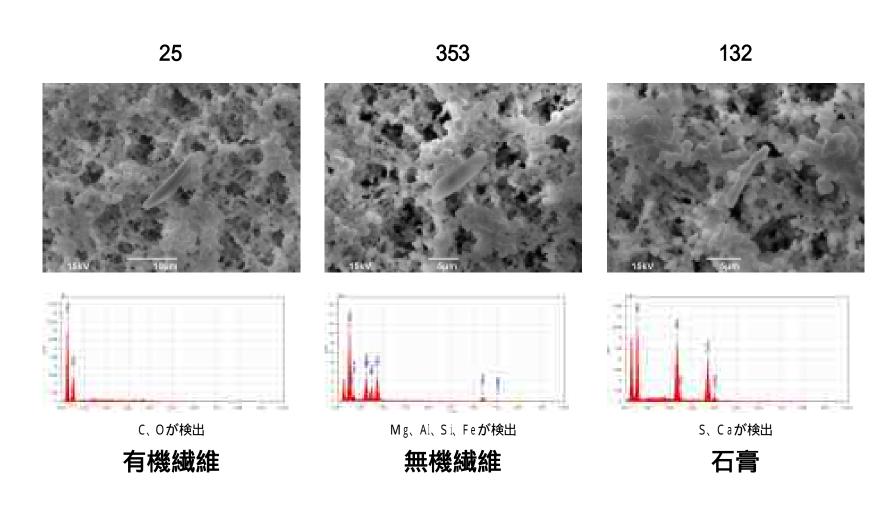
地点51- -2-2における繊維の組成



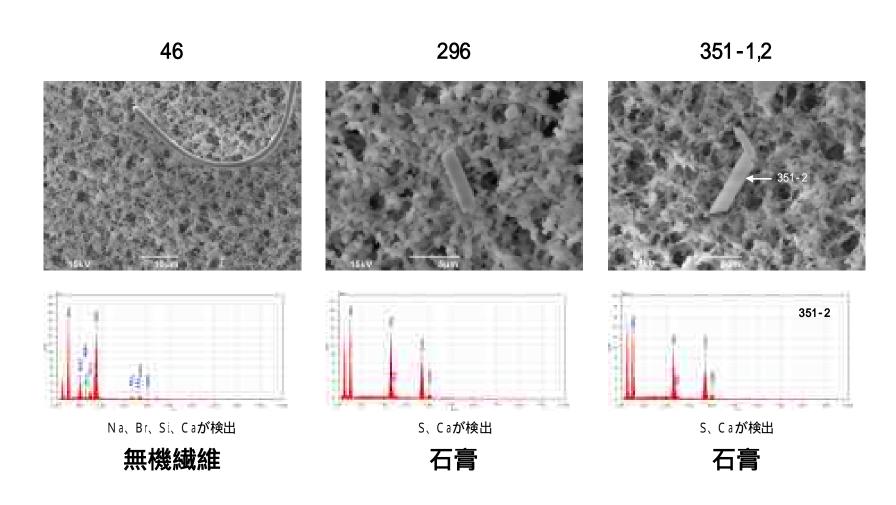
地点51- -2-3における繊維の組成



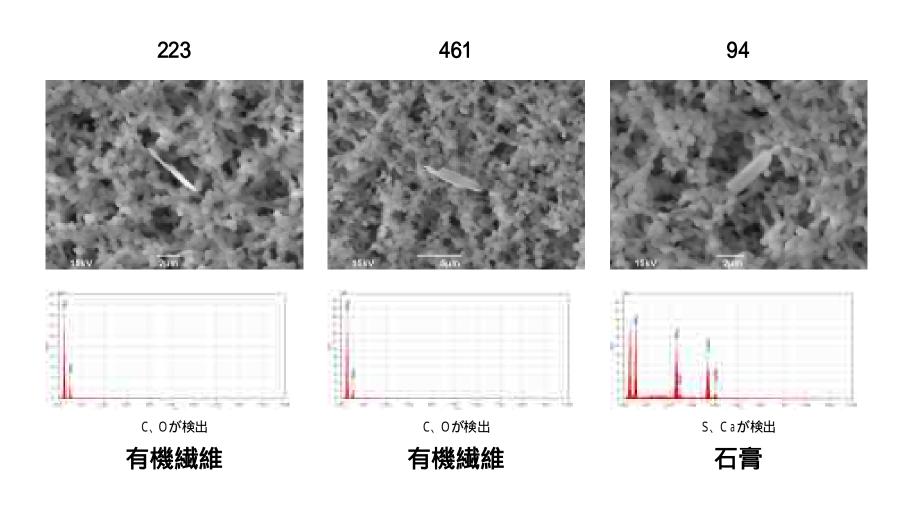
地点51- -2-4における繊維の組成



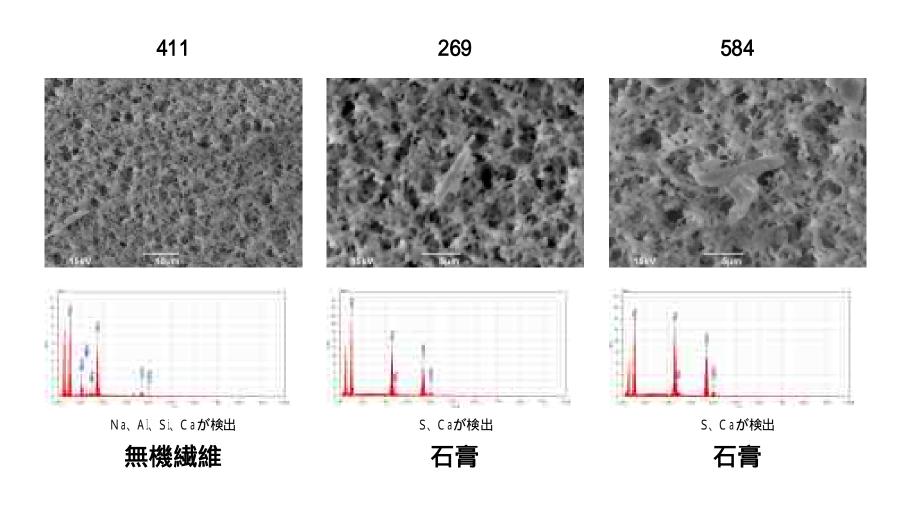
地点51- -3-1における繊維の組成



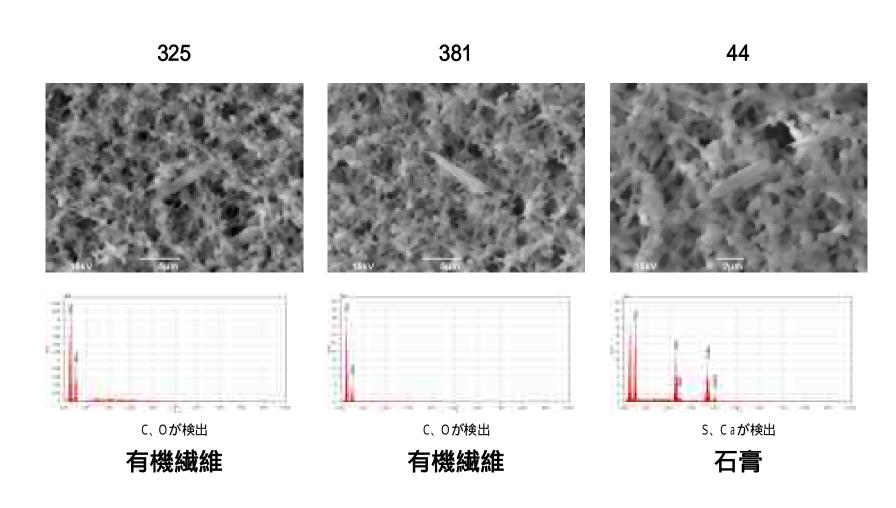
地点51- -3-2における繊維の組成



地点51- -3-3における繊維の組成



地点51- -3-4における繊維の組成



) 過去の調査結果との比較

本年度の調査のうち21地点46箇所については、過去の調査結果との比較対照を目的に、過去の調査(平成7年度、平成17~22年度)と同一地域において調査を実施した。当該地域について調査地域分類別に集計・整理した平成23年度の結果は、表 - 6に示すとおりである。また、過去の調査結果との比較を表 - 7,8に、そのグラフを図 - 2に示す。なお、本年度の調査では総繊維濃度のみ測定を行っていることから石綿濃度については平成21年度までの結果を参考として載せた。この比較からは、総繊維濃度の推移に特に一定の傾向は認められず、低い濃度レベルで推移していると考えられる。

表 - 6 過去と同一調査地域における平成23年度調査結果

【総繊維数】

汉】						
地域分類	地点数	測定箇所数	測定 データ数	最小値 (本/L)	最大値 (本/L)	幾何平均値 (本/L)
旧石綿製品製造事業場等	1	6	6	0.07	0.13	0.10
廃棄物処分場等	2	4	4	0.11	0.26	0.15
蛇紋岩地域	1	2	2	0.09	0.11	0.10
高速道路及び幹線道路沿線	4	8	8	0.12	0.34	0.21
住宅地域	4	8	8	0.06	0.19	0.10
商工業地域	5	10	10	0.06	0.26	0.12
農業地域	1	2	2	0.16	0.21	0.18
内陸山間地域	2	4	4	0.06	0.13	0.09
離島地域	1	2	2	0.06	0.06	0.06
合計	21	46	46			

- 注1)各測定箇所の石綿濃度の評価に当たっては、平成元年12月27日付け環大企第490号通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行について」に基づき、各測定箇所で3日間(4時間×3回)測定して得られた個々の測定値を測定箇所ごとに幾何平均し、その値を総繊維濃度としている。
- 注2)調査地域の分類に当たっては、過去の調査結果においては異なる分類を行っていた地域もあるが、平成 22年度の調査地域に合わせて分類した。

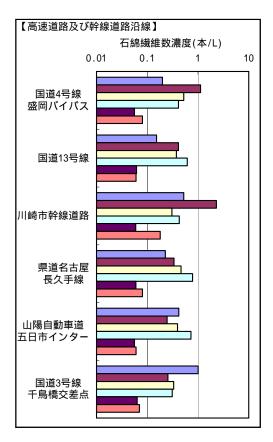
表 - 7 過去と同一調査地域における平成23年度調査結果の比較(総繊維数)

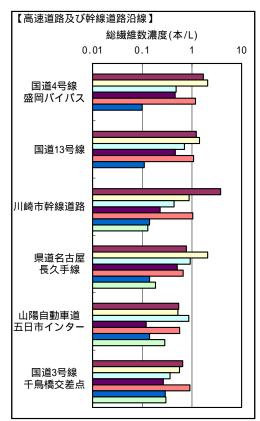
地域分類	地域名	亚茚	7年度	亚成18年度		幾何平均値 平成19年度				亚成21年度		亚成22年度		
旧石綿製品製造事業場等	(株) ノザワフラノ工場	平成17年度 0.98		平成18年度			平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
廃棄物処分場等	(北海道)	0.96		0.56		0.35		0.09		0.25		0.07		
光米がだりある	福島県いわき処分場 保全センター(福島県) 中央防波堤埋立処分場	1.16		0.82		0.43		0.18		0.27		0.11		
	(東京都)	2.00	1.86	1.77	0.86	0.23	0.35	0.32	0.23	0.27	0.31	0.21	0.14	
	堺第7-3区廃棄物処分場 (旧中間処理センター) (大阪府)	2.80		0.44		0.45		0.21		0.41		0.13		
蛇紋岩地域	遠野市蛇紋岩採石場 (岩手県)	1.10	0.86	0.56	0 66	0.48	0.46	0.22	0.21	0.19		0.10	0.11	
	糟屋郡旧蛇紋岩採石場 (福岡県)	0.68	0.86	0.77	0.66	0.44	0.46	0.20		0.48	0.30	0.11	0.11	
高速道路及び幹線道路 沿線	国道4号線盛岡バイパス (岩手県)	1.69		2.08		0.48		0.46		1.18	0.88	0.10	0.14	
	国道13号線 (山形県)	1.22		1.42	1.08	0.71		0.46		1.08		0.11		
	川崎市幹線道路 (神奈川県)	3.79		0.88		0.44	0.59	0.23	0.30	1.04		0.14		
	県道名古屋長久手線 (愛知県)	0.78	1.13	2.07		0.93		0.51		0.67		0.14		
	山陽自動車道五日市インター (広島県)	0.54		0.52		0.86		0.12		0.57		0.14		
	国道3号線千鳥橋交差点 (福岡県)	0.65		0.56		0.36		0.27		0.91		0.29		
住宅地域	富良野市住宅地域 (北海道)	0.77		0.37		0.49	0.37	0.14	0.21	0.41	0.43	0.06	0.08	
	盛岡市住宅地域 (岩手県)	0.73		0.24	0.45	0.41		0.29		0.72		0.07		
	釜石市住宅地域 (岩手県)	0.46		0.34		0.27		0.18		0.27		0.13		
	山形県立米沢女子短期大学 (山形県)	0.76	0.81	0.81		0.36		0.48		0.30		0.08		
	名古屋市住宅地域 (愛知県)	2.80		1.29		0.43		0.25		0.77		0.07		
	県保健環境研究センター及び 県奈良総合庁舎 (奈良県)	0.62		0.36		0.37		0.11		0.27		0.10		
	福岡市住宅地域 (福岡県)	0.65		0.35		0.38		0.14		0.56		0.08		
商工業地域	東京都環境科学研究所 (東京都)	1.16		0.69	0.55	0.21	0.33	0.20	0.18	0.18	0.33	0.19	0.13	
	川崎市公害研究所 (神奈川県)	1.11		1.05		0.31		0.23		0.53		0.15		
	堺港湾合同庁舎 (臨海センター南側庭園) (大阪府)	0.62	0.66	0.24		0.25		0.14		0.30		0.09		
	国設一般大気環境測定局前及び 尼崎市立労働センター中庭 (兵庫県)	0.59		0.62		0.27		0.17		0.34		0.16		
	双子川浄苑 (大阪府)	0.27		0.46		0.81		0.17		0.43		0.11		
農業地域	国設筑後小郡環境大気測定所 (福岡県)	0.49		1.00		0.45		0.17		0.75		0.11		
内陸山間地域	廃棄物処分場から800m離れた バックグラウンド地域 (福島県)	1.44		0.74		0.44		0.19		0.41		0.11		
	南原峡県立自然公園 (広島県)	0.61	0.72	0.60	0.68	0.48	0.45	0.14	0.20	0.50	0.51	0.08	0.10	
	千石の郷 (福岡県)	0.59		0.74		0.43		0.29		0.58		0.12		
離島地域	小川島 (佐賀県)	0.24		0.90		0.48		0.11		0.35		0.14		
解体現場	敷地周辺	1.01	1 00	0.83	4.44	0.45	0.51	0.18	0.20	0.46	0.40	0.12	0.44	
	セキュリティゾーン前及び排気口周辺	2.10	1.28	2.13	1.14	0.65		0.25		0.56	0.49	0.48	0.19	

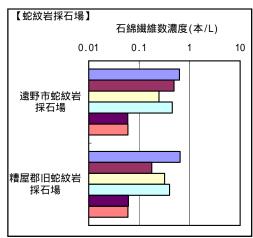
表 - 8 過去と同一調査地域における平成21年度調査結果の比較(石綿繊維数)(参考)

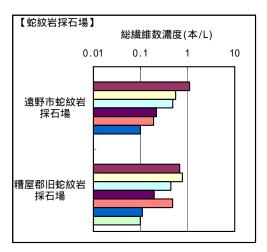
地域分類	地域名			亚出7年度		幾何平均值				亚世纪左		TT -0 -	· /
	(株) ノザワフラノ工場	平成7年度		平成17年度		平成18年度			9年度	平成20年度		平成21年度	
	(北海道)	1.7		0.54		0.16		0.32		0.06		0.06	
廃棄物処分場等	福島県いわき処分場 保全センター(福島県)	1.1		0.75		0.31		0.42		0.05		0.06	
	中央防波堤埋立処分場 (東京都)	0.38	0.47	1.5	1.2	0.64	0.35	0.22	0.33	0.06	0.05	0.06	0.06
	堺第7-3区廃棄物処分場 (旧中間処理センター) (大阪府)	0.23		1.4		0.21		0.40		0.05		0.06	
蛇紋岩地域	遠野市蛇紋岩採石場 (岩手県)	0.63	0.64	0.49	0.20	0.25	0.28	0.45		0.06	0.06	0.06	0.06
	糟屋郡旧蛇紋岩採石場 (福岡県)	0.65	0.04	0.18	0.30	0.32		0.40	0.42	0.06	0.06	0.06	0.06
高速道路及び幹線道路 品線	国道 4 号線盛岡バイパス (岩手県)	0.20		1.1		0.52		0.41		0.06		0.08	
	国道13号線 (山形県)	0.15		0.41		0.37		0.62		0.06	0.06	0.06	
	川崎市幹線道路 (神奈川県)	0.52	١.,,	2.3	0.53	0.31	0.39	0.43	0.52	0.06		0.10	0.07
	県道名古屋長久手線 (愛知県)	0.23	0.34	0.34		0.46		0.78		0.06		0.08	
	山陽自動車道五日市インター (広島県)	0.42		0.25		0.39		0.73		0.06		0.06	
	国道 3 号線千鳥橋交差点 (福岡県)	1.0		0.26		0.33		0.31		0.06		0.07	
住宅地域	富良野市住宅地域 (北海道)	0.74		0.35		0.13	0.22 0	0.47	0.33	ND	0.06	0.07	
	盛岡市住宅地域 (岩手県)	0.021		0.32	0.30	0.13		0.37		0.06		0.08	
	釜石市住宅地域 (岩手県)	0.010		0.26		0.17		0.23		0.06		0.06	
	山形県立米沢女子短期大学 (山形県)	0.28	0.11	0.22		0.30		0.34		0.07		0.06	0.06
	名古屋市住宅地域 (愛知県)	0.23		1.1		0.48		0.36		0.05		0.08	
	県保健環境研究センター及び 県奈良総合庁舎 (奈良県)	0.17		0.32		0.28		0.35		0.06		0.06	
	福岡市住宅地域 (福岡県)	0.32		0.11		0.16		0.32		0.06		0.06	
商工業地域	東京都環境科学研究所 (東京都)	0.13		0.36	0.22	0.23	0.27	0.19	0.26	0.06	0.06	0.06	
	川崎市公害研究所 (神奈川県)	0.47		0.38		0.28		0.25		0.06		0.06	0.06
	堺港湾合同庁舎 (臨海センター南側庭園) (大阪府)	0.13	0.19	0.14		0.21		0.19		0.06		0.06	
	国設一般大気環境測定局前及び 尼崎市立労働センター中庭 (兵庫県)	0.11		0.15		0.41		0.18		0.06		0.06	
	双子川浄苑 (大阪府)	0.22		0.16		0.24		0.67		0.06		0.06	
農業地域	国設筑後小郡環境大気測定所 (福岡県)	0.47		0.13		0.40		0.40		0.06		0.06	
内陸山間地域	廃棄物処分場から800m離れた バックグラウンド地域 (福島県)	0.59		0.48		0.36		0.43		ND		0.06	
	南原峡県立自然公園 (広島県)	0.25	0.24	0.15	0.20	0.33	0.36	0.45	0.42	0.06	0.06	0.06	0.06
	千石の郷 (福岡県)	0.14		0.18		0.39		0.39	<u></u>	0.06		0.06	
推島地域	小川島(佐賀県)	0.21		0.11		0.31		0.40		0.06		0.06	
解体現場	敷地周辺	-		0.19		0.22		0.41		0.06		0.06	
	セキュリティゾーン前及び排気口周辺	-	-	0.26	0.21	0.51	0.29	0.59	0.47	0.07	0.06	0.06	0.09

(注)平成17~19年度の石綿濃度は、顕微鏡の絞りの関係で高く検出されている可能性がある。





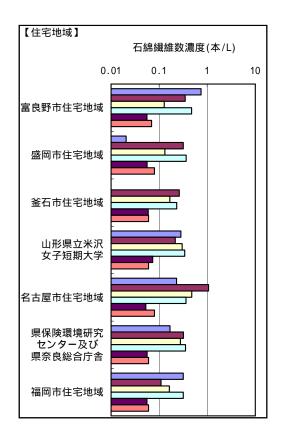


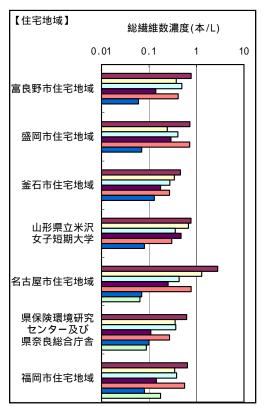


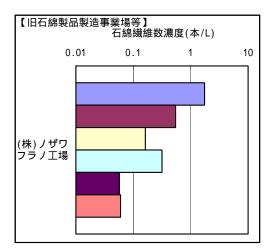
ND(0.06本/L未満)の地点についても、0.06本/Lとして表示している。

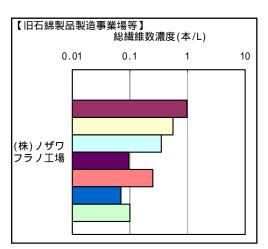


図 - 2 (1) 過去と同一調査地域内における平成 2 3 年度調査結果の比較





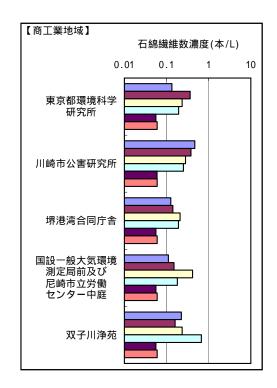


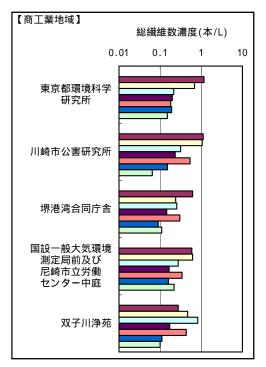


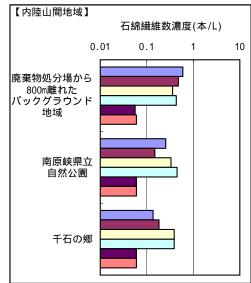
ND(0.06本/L未満)の地点についても、0.06本/Lとして表示している。

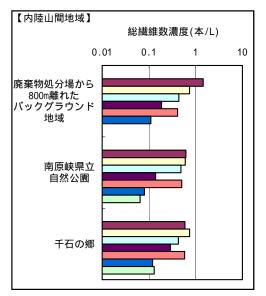


図 - 2 (2)過去と同一調査地域内における平成23年度調査結果の比較





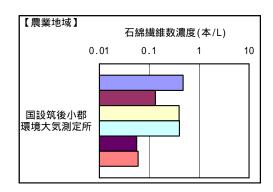


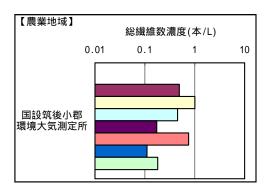


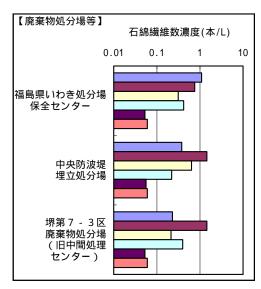
ND(0.06本/L未満)の地点についても、0.06本/Lとして表示している。

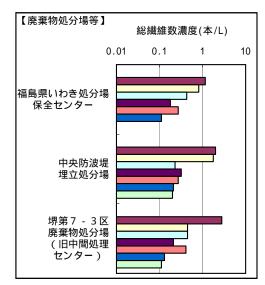


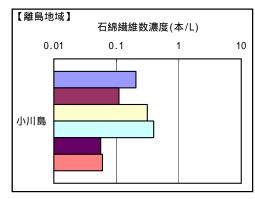
図 - 2 (3)過去と同一調査地域内における平成23年度調査結果の比較

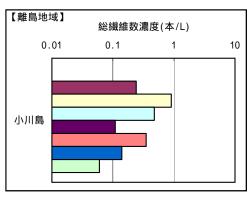












ND(0.06本/L未満)の地点についても、0.06本/Lとして表示している。



図 - 2(4)過去と同一調査地域内における平成23年度調査結果の比較